

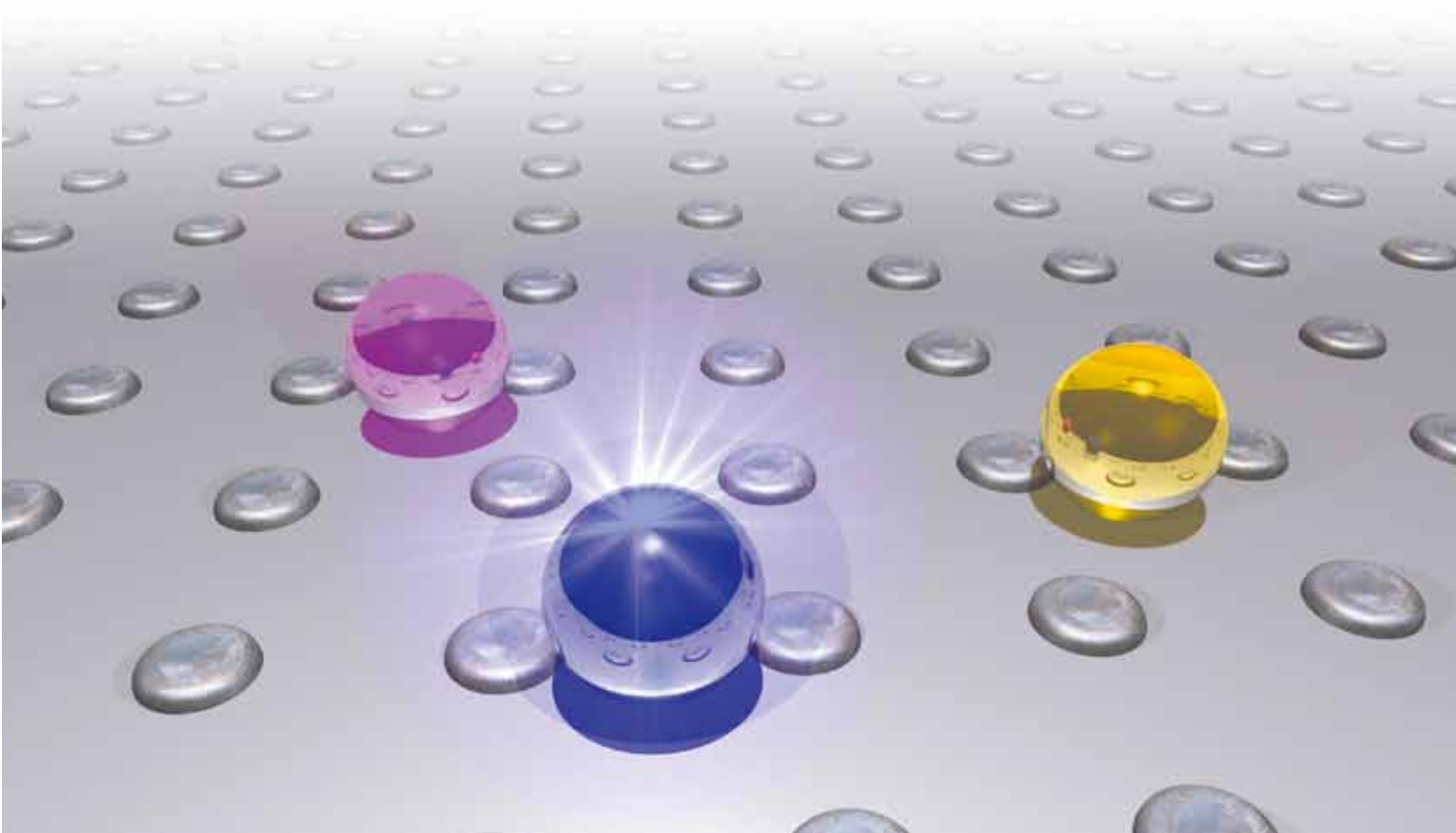
一般社団法人 **栃木県診療放射線技師会会誌**

JOURNAL OF TOCHIGI ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS



**TART**

TOCHIGI ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS



# Contents

## ■巻頭言

|          |         |   |
|----------|---------|---|
| 「新年を迎えて」 | 会長 小黑 清 | 1 |
|----------|---------|---|

## ■報 告

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 平成30年度 第2回卒後教育講座開催報告      | 2  |
| 平成30年度 第1回第1地区卒後教育講座開催報告  | 4  |
| 平成30年度 第1回第2地区卒後教育講座開催報告  | 5  |
| 平成30年度 第1回第3地区卒後教育講座開催報告  | 6  |
| 平成30年度 第1回第4地区卒後教育講座開催報告  | 7  |
| 平成30年度 第1回第5地区卒後教育講座開催報告  | 8  |
| 診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」開催報告  | 9  |
| 第9回業務拡大に伴う統一講習会開催報告       | 10 |
| 平成30年度 第1回全国会長会議報告        | 12 |
| 平成30年度 第1回卒後教育講座HPアンケート結果 | 14 |

## ■学 術

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| 平成30年度 栃木県診療放射線技師会 第1回卒後教育講座               | 16 |
| 画像診断学の基礎 -呼吸器-                             |    |
| 国際医療福祉大学 樋口 清孝                             |    |
| 平成30年度 第1回第5地区卒後教育講座                       | 24 |
| キヤノンCT/MRI 最新Topics -超高精細・定量化から人工知能活用技術まで- |    |
| キヤノンメディカルシステムズ株式会社 天野 清香/後藤 和馬             |    |
| 平成29年度 第2回第2地区卒後教育講座                       | 27 |
| 「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろう ～それ伝わっているか?～       |    |
| 栃木県診療放射線技師会 金田 幹雄/木村 友昭                    |    |
| 今市病院 原 享弘/千種 佳翔                            |    |
| 獨協医科大学病院 坂本 将規                             |    |
| 川上病院 江連 真一                                 |    |

## ■会員報告

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 第34回 日本診療放射線技師学術大会(下関) 参加体験記 |    |
| 獨協医科大学病院 和知 大志/瀬崎 英典/木村 友昭   | 46 |

## ■事務局報告

|                      |    |
|----------------------|----|
| 「第94回定時社員総会議事録」      | 47 |
| 「平成29年度第1回理事会議事録(抄)」 | 49 |
| 「平成29年度第2回理事会議事録(抄)」 | 52 |
| 「平成29年度第3回理事会議事録(抄)」 | 52 |
| 「平成29年度第4回理事会議事録(抄)」 | 54 |
| 「平成29年度第5回理事会議事録(抄)」 | 57 |
| 「平成29年度第6回理事会議事録(抄)」 | 60 |
| 「平成29年度第7回理事会議事録(抄)」 | 64 |
| 「会の動静、会員の動静」         | 67 |
| 「表彰」                 | 68 |
| 「平成30年度活動予定表」        | 68 |

|            |    |
|------------|----|
| ■賛助・広告会員一覧 | 69 |
|------------|----|

|       |    |
|-------|----|
| ■編集後記 | 69 |
|-------|----|



## 新年を迎えて

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会  
会 長 小 黒 清

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員みなさまにおかれましては、初春を夢と希望、さらには、ご家族の幸せを願ってお迎えのことと存じます。

旧年中は、本会の活動に対し、格別のご支援とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

本年も役員一同、会員みなさまに満足いただける技師会活動を心掛ける所存です。何とぞ昨年同様にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私も会長に就任して4度目の新年を迎えました。会長の役目として、栃木県診療放射線技師会の運営だけではなく、日本診療放射線技師会のいろいろな情報を会員みなさまにいち早く提供して、理解していただくことが重要だと思い、昨年本会ホームページをリニューアルして内容を充実してまいりました。おかげさまで、多くの方からアクセスをいただき大変感謝しております。

さて、新年を迎えるにあたり、今後の事業展開についていくつかお話しさせていただきます。

はじめに、「栃木県診療放射線技師会創立70周年記念式典の挙行について」です。

栃木県診療放射線技師会は、昭和24年（1949年）5月に設立され、70年の歳月を経て現在510余名を有する職能団体に発展してまいりました。70年の長きに亘り、歴代会長を中心に会員みなさまと一体となって、職能団体として診療放射線技師の資質向上、放射線の安全利用や県民の医療と保健の維持発展に寄与する活動をしてまいりましたことに対して、深く敬意を表したいと思います。これからも栃木県診療放射線技師会が80周年、90周年と発展し続けるように2019年度に創立70周年の記念式典を開催したいと考えておりますので、会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

次に、「業務拡大に伴う統一講習会の受講について」です。

診療放射線技師法の一部改正が2014年6月18日に行われました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血の行為や、下部消化管検査のために肛門へカテーテルを挿入する行為、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のための肛門へのチューブ挿入行為であり、診療放射線技師の業務内容の拡大です。しかし、以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、新たな業務に係る教育を受けていない診療放射線技師について

は、医療安全の観点からも、新たな業務を行うに先立って、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受ける必要があります。この統一講習会修了者には厚生労働省後援修了証書及びJART修了バッジが授与されます。日本診療放射線技師会では100%の診療放射線技師の受講を目指しております。栃木県においても、平成27年9月に第1回を開催してから今まで9回開催しておりますが、現在63%の受講率です。栃木県内での開催は、来年3月までの予定となりますので、2019年度は、会員が受講しやすい日程を考慮したいと思っています。まだ受講していない会員の方に、ぜひ、統一講習会を受講するように声かけをしていただき、栃木県としても受講率100%を目指したいと思っています。

最後に、「医療被ばく低減施設認定取得への協力について」です。

日本診療放射線技師会では「安心できる放射線診療」を国民のみなさまへ提供するための事業として、医療被ばく低減施設の認定を行っています。

2020年までに各県で3～5施設の認定施設があれば、診療報酬改定で加算を考慮するとの動きがあり、日本診療放射線技師会では、各県に5施設は、医療被ばく低減施設を認定したいと考えています。本会としても、認定取得を推進するために、平成30年9月に医療被ばく低減施設認定取得セミナーを開催しました。県内の11施設26名の方に参加していただき医療被ばく低減施設認定取得への意欲が感じられました。今後も医療被ばく低減施設認定取得セミナーを企画したいと思っていますので、ぜひみなさんの施設でも認定取得を目指していただきたいと思います。

今年は、亥年（いどし）です。イノシシがわき目も振らず突進していくように、本会も「わかりやすい技師会」という目標に向かって真っすぐに走っていきたいと思います。

会員みなさまとともに本会の更なる発展と診療放射線技師の地位向上に貢献するために、会員による会員のための事業を中心に、これからも役員一同頑張っていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

栃木県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。

## 平成30年度 第2回卒後教育講座 開催報告

開催日時：平成30年10月27日(土) 15:00～

会 場：獨協医科大学病院 3階大会議室

参加人数：会員53名



開会の挨拶をする小黒清会長

平成30年10月27日に獨協医科大学病院にて第2回卒後教育講座が行われました。

講演1では、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科教授樋口清孝先生に、画像診断学の基礎－心

血管part2－の講演をしていただきました。Case1では大動脈瘤についての画像所見について大動脈陰影の拡大、石灰化がみられること、病態・病理について大動脈が壁の脆弱性のため拡張が原因であること、構造による分類・発生部位および形態による分類など詳しく説明していただきました。Case2では大動脈解離についての画像所見について縦隔の拡大、気管の偏位、心タンポナーデがみられること、病態・病理について大動脈内膜に亀裂が入りそこから侵入した血液が中膜に沿って血管を割いた状態であること、分類など詳しく説明していただきました。Case3では高安動脈炎についての画像所見・病態・病理・分類と頻度など詳しく説明していただきました。Case4では閉塞性動脈硬化症についての画像所見・病態・病理など詳しく説明していただきました。前回までご講演していただいた脳・心血管・消化器・呼吸器に続き今回もとてもいい勉強になりました。引き続きお願いするとともに有難うございました。

講演2では、GEヘルスケア・ジャパン株式会社営業推進部山下清美先生に乳がん診断の動向と最新機器の講演をしていただきました。現状の女性医療から乳がん、乳がん診療における各モダリティ、Senographe Pristinaまで幅広い内容でした。とくに乳がんによる死亡者数は多くないが増加傾向にあるということ、がん罹患女性の1位は乳がんであること、乳がんは比較的予後の良いがんであること、また各モダリティの役割としてマンモのみである場合は感度77.0%、特異度91.4%、検出率0.3%に対しマンモ＋エコーである場合は感度91.1%、特異度87.7%、検出率0.5%になるなど詳しく説明していただきました。

講演3では、バイエル薬品株式会社川上典一先生にX線量管理システム－Radimetrics－の講演をしていただきました。RadimetricsとはX線線量情報一元管理システムのことでありマルチモダリティ対応とデータ活用により線量情報の管理が効率的に行えます。5つのマルチモダリティとRIでは核種・投与量を入力して検査すれば対応可ということでした。

最後になりますが、大変お忙しい中ご講演いただき厚く御礼申し上げます。有難うございました。



国際医療福祉大学  
樋口清孝 先生



GEヘルスケア・ジャパン(株)  
山下清美 先生



バイエル薬品(株)  
川上典一 先生



座長を務める木村友昭 理事



## 平成30年度 第1回 第1地区卒後教育講座 開催報告

開催日：平成30年10月19日(金)

会場：国際医療福祉大学

参加人数：20名 [会員14名、非会員6名（新卒者1名、学生5名）]

10月19日(金)、平成30年度第1回第1地区卒後教育講座が国際医療福祉大学で開催されました。平日夜の開催にも関わらず、会員14名、新卒者1名、学生5名と多くの方に参加していただきました。

今回の内容は、「AI（人工知能）技術の活用と展望」について2つの企業から報告をしていただきました。2社ともAIの歴史からすでに製品化されているAI技術、今後の医療分野での展望などについて聞くことができ、各社の技術や考え方について理解することができました。医療現場ではまだ想像できない部分もありますが、間違いなく医療の分野でもAIが活用される時代が来ると思います。それまでに、我々診療放射線技師も新しい技術を上手く活用できるように日々努力することが必要であると感じました。



キヤノンメディカルシステムズ  
網代先生



フィリップス・ジャパン  
瀧場先生

最後に、ご講演を快く引き受けていただきました、キヤノンメディカルシステムズの網代先生、フィリップス・ジャパンの瀧場先生に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



第1地区幹事 岡 野 員 人

## 平成30年度 第1回 第2地区卒後教育講座 開催報告

開催日：平成30年11月10日(土) 会場：獨協医科大学病院 臨床医学棟10階講堂

参加人数：18名(会員18名)

テーマ：患者が求める医療とは ～診療放射線技師ができること、メーカーができること～

### 役員発表

技師会が求めている検査説明

業務執行理事

金田 幹雄

### 講師発表

わかりやすい被ばく相談

獨協医科大学病院RIセンター 久保 誠 先生

### 討論会

わかりやすい検査説明と被ばく相談

～なぜ？どうすればいいの？～

第2地区理事

木村 友昭

### メーカー発表1

わかりやすい機器管理 ～チームプレイとは～

シーメンスヘルスケア(株)

李 明河 先生

### メーカー発表2

キヤノンメディカルシステムズの描く

「AIを用いた医療情報ソリューション&機器管理」

キヤノンメディカルシステムズ(株)

網代 啓志 先生

銀杏並木の黄葉の映える秋晴れの11月10日に、獨協医科大学病院で、第1回第2地区卒後教育講座が開かれた。会長より今年度は県内全地区で「検査説明と相談」について行うこととなっていることが伝えられた。

役員発表の「技師会が求めている検査説明」では、チーム医療の推進による「検査説明」について、患者の不安に対し診療放射線技師が責任をもって歩み寄り説明をすることの大切さと、大学病院ではどのような説明をしているか紹介した。

講師発表の「わかりやすい被ばく相談」では、被ばく相談の基礎と実際として臨床実習(BSL)による医療放射線教育の「適切な説明を行うための模擬被ばく相談」について紹介があり、適切な説明を行うためには診療放射線技師教育にも必要性があると感じた。また、他施設からの放射線関連の教育と訓練についての質問に対し非常にわかりやすく説明をされた。

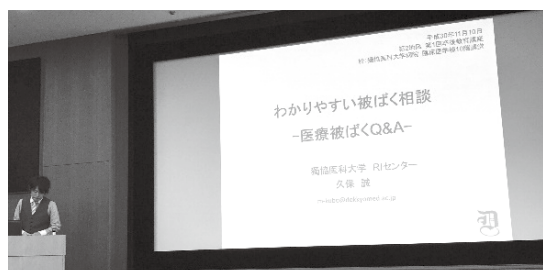
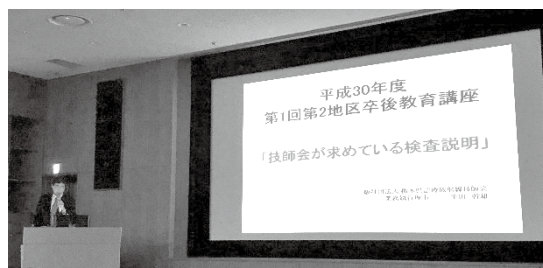
討論会では、短い時間ではあったが、各施設から検査説明や被ばく相談について様々な質問があった。

メーカー発表1「わかりやすい機器管理 ～チームプレイとは～」では、放射線検査の管理システムによるデータの見える化や、診療報酬加算3をとるための被

ばくの適切な管理のあり方について紹介された。

メーカー発表2「キヤノンメディカルシステムズの描く『AIを用いた医療情報ソリューション&機器管理』」では、患者のための医療安全について安全管理のガイドラインやディープラーニングによるAIの利用について紹介された。

わかりやすい説明と相談を行うことで患者の不安を取り除き、満足していただけると考える。



第2地区理事 木村 友昭

## 平成30年度 第1回 第3地区卒後教育講座 開催報告

開催日時：平30年11月2日(金) 午後6時30分～午後7時50分

会 場：栃木県立がんセンター 本館3階 講堂

参加人数：40名（会員29名 非会員3名 学生7名 医師1名）

内 容：「平成30年度診療報酬－画像診断に関わる点数を中心に－」

〈講師〉ブラッコ・エーザイ株式会社 内川 慶 先生

「急性腹症のCT－虫垂炎を中心に－」

〈講師〉栃木県立がんセンター 放射線診断科長 小林 茂 先生



平成30年度第1回第3地区卒後教育講座を栃木県立がんセンター本館3階講堂で開催した。

参加者は、会員29名、非会員3名、学生7名、医師1名の計40名だった。

話題提供として、ブラッコ・エーザイ株式会社の内川慶様より「平成30年度診療報酬－画像診断に関わる点数を中心に－」についてご紹介いただいた。

画像診断管理加算3が本年度追加され、「適正な被ばく線量管理を行っていること」が施設基準となった。当該加算を算定していなくても被ばく線量管理は重要であり、全施設が当てはまることを参加者皆が認識することができた。また、画像等手術支援加算の症例が拡大され、タブレットや3Dプリンタといった様々なデバイスを利用した大学病院の実例をご紹介いただいた。

続いて、栃木県立がんセンター放射線診断科長の小林茂先生より「急性腹症のCT－虫垂炎を中心に－」をテーマにご講演をいただいた。

TROI（Torsion：ねじれ、Rapture：破裂、Occlusion：詰まり、Infection：感染）の視点を持ち、回結腸動脈、虫垂動脈をはじめとした動静脈から虫垂を同定することで診断の足がかりとしているとのことだった。診療放射線技師へのメッセージとして、単純CTを撮影して脂肪、腹水の濃度を把握すること、動脈優位相、門脈相、平衡相を撮影して動静脈を描出すること、横断像に加え冠状像を作成することをアドバイスいただいた。

栃木県診療放射線技師会では、「読影の補助」をテーマに掲げて研鑽しているが、国の施策に関すること、読影する医師の思いを聞き取ることができ、大変有意義な卒後教育講座となった。



## 平成30年度 第1回 第4地区卒後教育講座 開催報告

日 時：平成30年9月12日(水) 午後6時30分～

会 場：佐野市民病院 5F講義室

参加人数：25名

内 容：「造影剤リスクマネジメント」

〈講師〉第一三共株式会社 津 康高 先生

佐野市民病院にて第1回第4地区卒後教育講座を開催しました。今回は第一三共株式会社の津康高先生より「造影剤リスクマネジメント」について講演をしていただきました。

講演は造影剤を使用するにあたって、生じる可能性がある副作用について、また造影剤の使用基準で改定された箇所等についておこなわれました。副作用に対する知識を深め対策をとることで、造影検査におけるリスクは下げることができます。

本講演を通して得た知識を今後の業務に役立て、少しでもリスクを減らした検査を提供できるように努めていきたいと改めて感じることができました。



第4地区幹事(連絡員) 小 堀 太 志

## 平成30年度 第1回 第5地区卒後教育講座 開催報告

開催日時：平成30年11月8日(木) 午後6時30分～午後8時00分

会場：独立行政法人 新小山市市民病院 2階 さくらホール

参加人数：29名（会員29名）

内容1：「キヤノンCT/MRI 最新 Topics

－超高精細・定量化から人工知能活用技術まで－

〈講師〉キヤノンメディカルシステムズ株式会社 関東支社

営業推進部 CT担当 主任 天野 清香 先生

営業推進部 MRI担当 後藤 和馬 先生

内容2：新小山市市民病院 施設見学会



キヤノンメディカルシステムズ(株)  
天野清香 先生



キヤノンメディカルシステムズ(株)  
後藤和馬 先生

平成30年11月8日(木)、第1回第5地区卒後教育講座が行われました。

今回のテーマは「キヤノンCT/MRI最新Topics－超高精細・定量化から人工知能活用技術まで－」でした。

CTでは人工知能AIの技術を取り入れた新しいCT再構成技術「AiCE (Advanced Intelligent Clear-IQ Engine)」の紹介と、AiCEを搭載した超高精細CT Aquilion precisionでの腹部の超高精細の画像を中心に紹介いただきました。

MRIにおいても3テスラ装置で7テスラ装置並みの超高精細の2048マトリクスの脳の画像を紹介いただきました。

CT、MRIともに再構成に用いられているDLR (Deep Learning Reconstruction) という、装置にノイズを学習させノイズ成分を除去するという技術はとても興味深い内容でした。提示されたノイズのない超高精細画像は今まで見てきたCT、MRI画像とは全く別物でした。

また、定量化とマルチモダリティ解析に特化したワークステーション「Vitreia」の紹介では様々なソフトウェアによる次世代の活用法など私自身もとても勉強になりました。

内容2では平成28年1月4日に移転した新小山市市民病院の施設見学でした。

参加した会員は新小山市市民病院の技師さんたちにいろいろ質問していたようです。

会場の提供から準備、受付作業までしていただき、施設見学では会員からの質問等に快くお答えいただいた新小山市市民病院の皆様はこの場を借りて心より感謝申し上げます。



第5地区理事 大橋 俊之

## 診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」（栃木県開催）

■ 開催日：平成30年10月14日(日) 天気 曇り 温度19℃

■ 時 間：午前9時15分～午後5時45分

■ 会場：獨協医科大学 120番教室

朝早くから長い時間にわたって開催されますが86名の申込みがあり参加者は80名でした。北は北海道から南は広島という遠い場所から多数の参加があり、運営委員も驚きました。

講師の先生方は朝から来場されて、午後の講義であるのに他の先生方の講義を興味深く聴いておられました。講師は、MR装置：足利赤十字病院・中室智之先生、基礎原理：栃木県立がんセンター・大野秀幸先生、パルスシーケンスと画像コントラスト：国際医療福祉大学・丸山純人先生、アーチファクト・脂肪抑制・造影剤：自治医科大学附属病院・山越一統先生、画像評価・性能評価：自治医科大学附属病院・国府田哲弘先生、安全管理：那須赤十字病院・佐藤統幸先生の6名の先生方でした。

受講者は最後まで熱心に聴き、メモを取り、テストを全員クリアされているのではないかと思います。



足利赤十字病院  
中室智之 先生



栃木県立がんセンター  
大野秀幸 先生



国際医療福祉大学  
丸山純人 先生



自治医科大学附属病院  
山越一統 先生



自治医科大学附属病院  
国府田哲弘 先生



那須赤十字病院  
佐藤統幸 先生



学術部長 吉 成 亀 蔵

## 第9回業務拡大に伴う統一講習会 開催報告

開 催 日：平成30年11月17日(土)・18日(日) 晴れ 17℃

会 場：獨協医科大学病院 教育医療棟6・7階 シミュレーション講義室Ⅰ・Ⅱ

参加人数：23名

今回もDVDの講義と実習にて開催されました。紅葉も終わりを迎えるころの開催となりますが良い天気恵まれ日中は暖かな日になりました。その中、23名の方に参加していただきました。統一講習会も9回目となり参加者も前回と同様の23名の開催になりました。

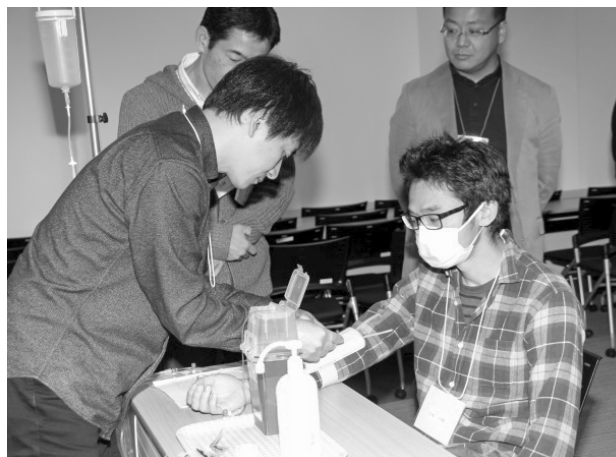
業務拡大に伴う統一講習会の趣旨は診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正されたことによるものです。CT・MR検査の自動注入器による造影剤の注入と注入後の針の抜刺や止血、下部消化管検査のネラトンチューブ挿入、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入などの業務拡大がなされました。この業務を行うために医療の安全を確保することが求められていて、このために必

要な知識、技能を習得することが目的で、講習会は強制されるものではありませんが診療放射線技師の法令改正によるところで受けていただきたいと思います。

今回の開催は祝日の連休ではなく通常の土曜日・日曜日の開催としました。参加者の皆さんは、朝早くから集まり遅い時間までDVDの講習を受けなければならずつらいところと思いますが頑張っていました。実習では班ごとに静脈注射の抜針、下部消化管検査、IGRT、一次救命処置法に至るまでをグループで慣れない手つきながら全員が実習を行いました。講師の方々有難う御座います。明日から仕事に生かせるものは生かしていただきたいと思います。



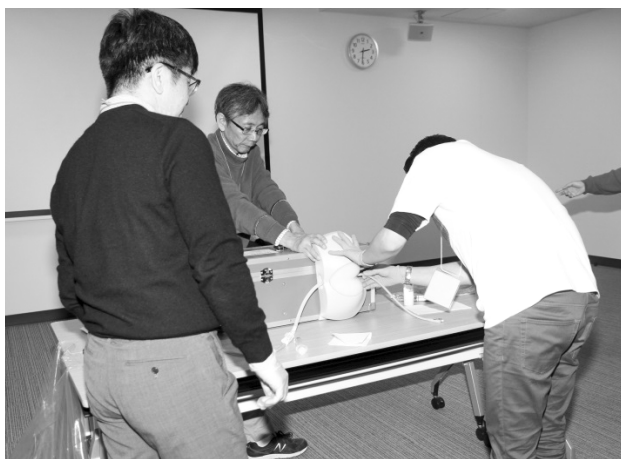
## 静脈注射関係実習



## BLS 関係実習



## 下部消化管検査・IGRT 関係実習



学術部長 吉 成 亀 蔵

# 平成30年度第1回全国地域連絡協議会(全国会長会議)報告

日 時：平成30年7月29日(日) 13時～

会 場：JART事務所

(一社) 栃木県診療放射線技師会 会 長 小 黒 清

## 議題1 臨床実習指導規程(申請・更新の特例期間)について

臨床実習指導施設登録が30施設に満たない状況である。今後指導施設を充実させていくために、平成33年3月まで特例期間として申請手数料と更新手数料を無料とする。これから参加型の臨床実習にしていく方向で厚労省でカリキュラムの検討が行われているので整備が必要である。

## 議題2 医療被ばく低減認定施設への協力について

講演会の開催をお願いしたところ多数の希望をいただいた。

認定には放射線管理士、放射線機器管理士を持っている者が施設にすることが前提なので、各都道府県のどの施設に所有者がいるかを、各会長宛てにメールで報告したい。

## 議題3 都道府県における養成校設立の動きについて

来年、順天堂大学が定員120名の学科を設立する。2020年に大阪の森ノ宮医療大学に作られる。大阪に4年制の専門学校が立ち上がるが、なるべく専門職大学にしてもらう動きを今後していかなければならない。2021年に福島県立医科大学に25名の定員で準備が進んでいる。岡山県の創志学園において専門学校を設立する動きがあるので、今後の動き次第では専門学校ではなく大学にしたいと三役で理事長をお願いに行かなければならない。

## 議題4 統一講習会受講率等について

統一講習会の目的は業務拡大に伴う医療安全を確保するためとともに、この業務拡大によって診療放射線技師学校養成所指定規則が93単位から95単位になったことにより既卒の技師がこの2単位を補うためであり、免許の一部と捉えてほしい。

## 議題5 柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決議について

昨年の全国会長会議で柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決議を各都道府県技師会の理事会で承認を得てほしいとお願いした。全ての都道府県技師会で反対表明決議が承認された。ご協力していただき誠にありがとうございました。

## 議題6 読影の補助業務における診療放射線技師活用に関する要望書について

画像診断報告書の見過ごしでガン患者が発生し、患者から大きなクレームがきているという問題がたびたび報道されている。これを受けて診療放射線技師の読影の補助に関する活用をお願いしたいと、7月2日に厚労省の武井医政局医事課長へ要望書を出した。

## 議題7 休日および夜間勤務労働適正化に関する要望書について

会誌2月号、3月号、4月号に掲載した診療放射線技師業務実態調査報告書をまとめたものを、7月2日に厚労省の山越労働基準局長へ説明させていただき協力をお願いした。

要望1:「労働時間等設定改善指針」順守のための支援強化

要望2:夜勤交代制勤務に関する具体的な指針等の整備及び推進

## 議題8 実態調査推進に向けた方策と協力について

平成30年度診療放射線技師給与の動向に関する調査を電子メールでエクセル形式のアンケート表を送付して行う予定であるので協力をお願いしたい。

## 議題9 JART執行理事の出張等に関する内規について

執行理事が地域や地区の講演などに行く場合の交通費と宿泊費であるが、地区技師会の記念式典等の場合は主催者負担となる。執行理事以外の役員の招聘も主催者負担である。地域学術大会や地区学術大会の場合はJART負担となる。

## 議題10 JART執行部の対応に対する抗議について

4月28日の第1回理事会終了後、北海道診療放射線技師会の坂東前地域理事にコピー機購入の件について話をした件で抗議文が届いた。

抗議文についてJARTと北海道技師会の双方に監事3名が意見聴取を行った。その結果から、双方に、「行き過ぎ、追求し過ぎ」と「風評等」による非難中傷も見受けられるとの回答が出された。そして、日本診療放射線技師会執行部と坂東前会長にいくつかの問題点が指摘され、文書にて注意勧告がされた。

## 配布資料について

### ●診療放射線技師法改正案

平成24年4月から6年間、改正案について検討してきた。そして最終的な診療放射線技師法改正案第三次答申書をまとめた。今後は会誌に掲載し会員に周知を図りたい。来年になったら行政に改正案をお願いする。我々の法律は議員立法なので、自民党、公明党と連携して国会に上程することになるだろう。できることなら4年以内に実現したい。また、政治家と付き合うには、お金が必要になる。立法院とお付き合いし技師法改正を勝ち取るためには、並々ならぬ努力と運動資金が必要になることをご理解いただきたい。数千万のお金がないと勝ち得ることはできないと思っている。技師連盟との関係となるので、連盟への協力もお願いしたい。

### ●災害対策委員会

平成30年7月の豪雨災害について、義援金活動についての稟議をJART役員に諮り、総務より全国都道府県技師会会長へ義援金への協力依頼を行った。

### ●放射線機器分科会

放射線関連機器の故障・事故実態調査への協力をお願いしたい。

# 平成30年度第1回卒後教育講座 HPアンケート結果

【実施日】 2018/5/26

【実施会場】 獨協医科大学病院

【アンケート開催者】 栃木県診療放射線技師会

【出席者数】 62 人

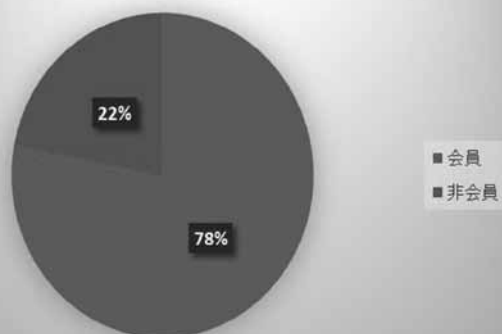
【回答数】 53

【無回答数】 9

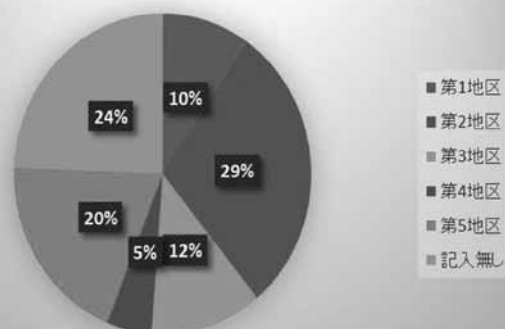
【回答率】 85%

| No. | アンケート内容                                       |
|-----|-----------------------------------------------|
| 1   | 技師会会員分類はどちらですか？                               |
| 2   | 地区を教えてください。                                   |
| 3   | 平成30年度第1回卒後教育講座の開催を何で知りましたか？                  |
| 4   | どの講座に興味があって参加しましたか？                           |
| 5   | 画像診断学の基礎（呼吸器）内容はわかりやすかったですか？                  |
| 6   | 画像診断学の基礎（呼吸器）興味がわきましたか？                       |
| 7   | 医療被ばく低減施設取得へ向けて内容はわかりやすかったですか？                |
| 8   | 医療被ばく低減施設取得へ向けて興味がわきましたか？                     |
| 9   | 平成30年4月に栃木県診療放射線技師会ホームページをリニューアルしたことを知っていますか？ |
| 10  | 新ホームページを見たことはありますか？                           |
| 11  | 新ホームページをどのくらいの頻度で見えていますか？                     |
| 12  | 新ホームページはみやすく、わかりやすくなったと感じますか？                 |

1.技師会会員分類はどちらですか？



2.地区を教えてください。



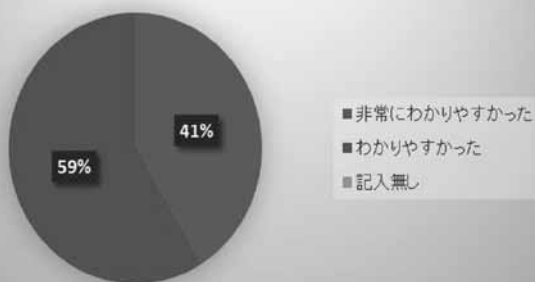
3.平成30年度第1回卒後教育講座の開催を何で知りましたか？



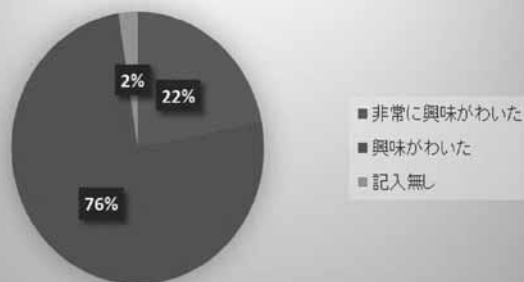
4.どの講座に興味があって参加しましたか？



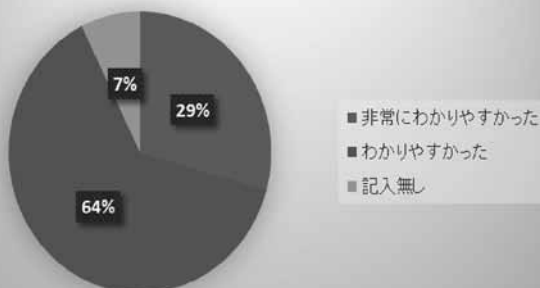
5.画像診断学の基礎(呼吸器)内容はわかりやすかったですか？



6.画像診断学の基礎(呼吸器)興味がわきましたか？



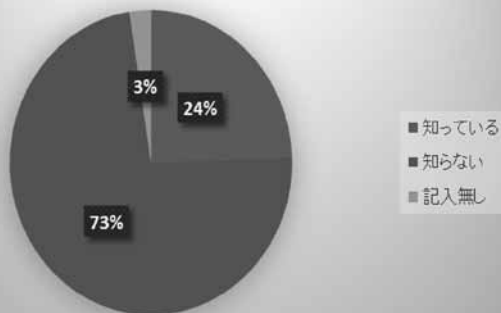
7.医療被ばく低減施設取得へ向けて内容はわかりやすかったですか？



8.医療被ばく低減施設取得へ向けて興味がわきましたか？



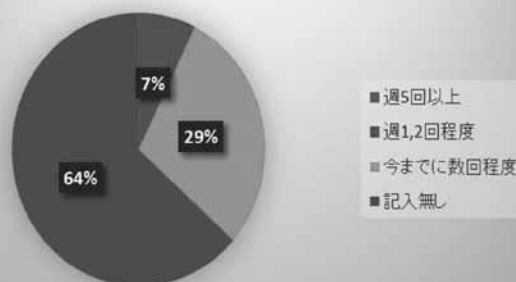
9.平成30年4月に栃木県診療放射線技師会ホームページをリニューアルしたことを知っていますか？



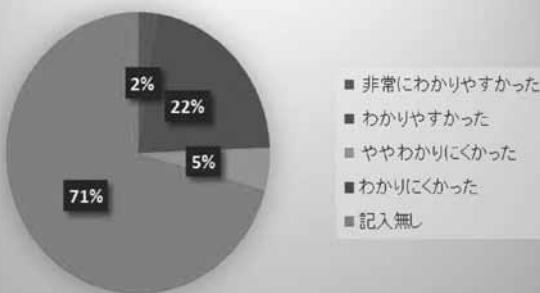
10.新ホームページを見たことはありますか？



11.新ホームページをどのくらいの頻度で見えていますか？



12.新ホームページはみやすく、わかりやすくなったと感じますか？



アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

# 画像診断学の基礎 —呼吸器—

国際医療福祉大学

保健医療学部 放射線・情報科学科 樋口 清 孝

本稿は、卒後教育講座で講義させていただきました内容を纏めたものです。自己学修としてご活用いただければ幸いです。

## Case 1 : 無気肺 Atelectasis

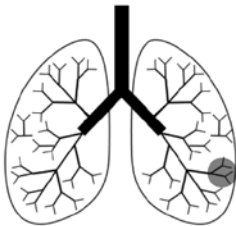
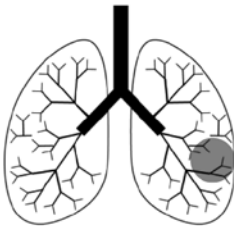
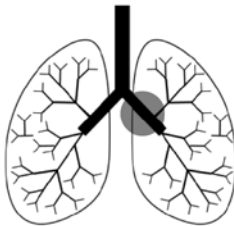
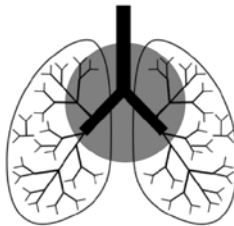
### 【病態・病理】

- ・ 肺胞内の含気が低下し、肺の膨張が不完全な状態をいう。
- ・ 原因により閉塞性無気肺と非閉塞性無気肺に大別される。
  - ▶ 閉塞性無気肺 …腫瘍、異物、気管支分泌物(痰)などによる気道閉塞
  - ▶ 非閉塞性無気肺
    - ・ 圧迫性無気肺 …胸水、気胸、縦隔腫瘍などによる圧迫
    - ・ 粘着性無気肺 …肺界面活性の低下
    - ・ 瘢痕性無気肺 …炎症性病変の瘢痕化や間質性病変の線維化
- ・ 多くは閉塞性無気肺であり、小児の場合は気管支異物によるものが比較的多く、成人の場合では肺癌による気道閉塞<sup>[point-1]</sup>の頻度も高い。

### [point-1] 肺癌による気道閉塞

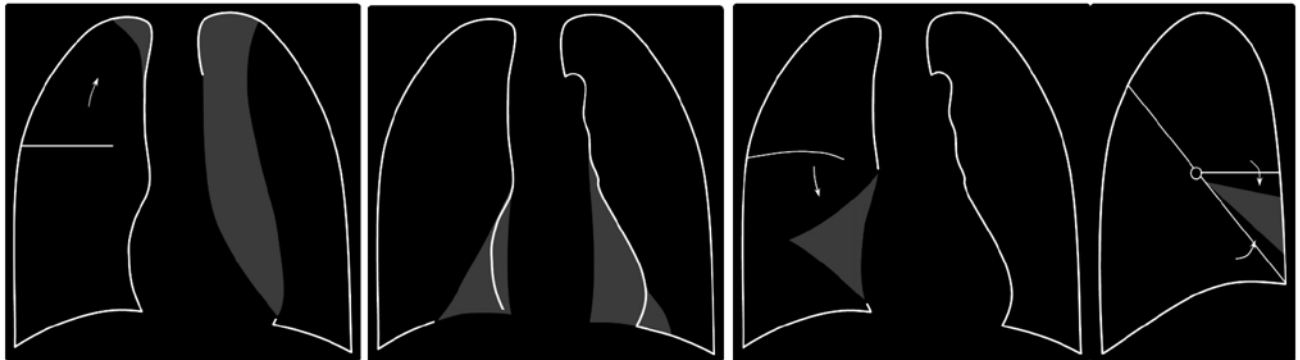
肺癌は病理組織学的に非小細胞癌である「腺癌」、「扁平上皮癌」、「大細胞癌」、そして「小細胞癌」の4つに分類される(表1)。その内、扁平上皮癌と小細胞癌は中枢部(肺門に近い太い気管支)に発生することが多く、閉塞性無気肺の原因になることもある。

表1 肺癌の分類

| 分 類  | 非小細胞癌                                                                               |                                                                                     |                                                                                      | 小細胞癌                                                                                  |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|      | 腺 癌                                                                                 | 大細胞癌                                                                                | 扁平上皮癌                                                                                |                                                                                       |
| 好発部位 | 肺野(末梢)                                                                              |                                                                                     | 肺門(中枢)                                                                               |                                                                                       |
|      |  |  |  |  |
| 頻 度  | 約 50%                                                                               | 約 5%                                                                                | 約 30%                                                                                | 約 15%                                                                                 |
| 遠隔転移 | 中                                                                                   | 多い                                                                                  | 中                                                                                    | 最も多い                                                                                  |

【画像所見】

- ・ 肺の含気が低下した部位は不透過陰影となり、その体積が減少したところに周囲構造の偏位がみられる。
- ・ 周囲にある正常な肺葉は代償性過膨張がみられる。
- ・ 心臓や大動脈の肺縦隔境界線の消失(シルエットサイン陽性)、葉間裂の偏位、患側横隔膜の挙上、縦隔構造の患側偏位、肋間腔狭小化が認められる。
- ・ 全肺の無気肺は肺野全体が不透過陰影となり、多量胸水との鑑別を要する。無気肺では気管の透亮像が無気肺側に偏位するのに対し、胸水では反対側に偏位する。
- ・ 肺葉性無気肺では、部位に応じて特徴的な所見を呈する(図1)。



左・右上葉の無気肺

左・右下葉の無気肺

中葉の無気肺

図1 胸部単純X線写真上の無気肺のみえ方

## Case 2 : 肺水腫 Pulmonary edema

## 【病態・病理】

- ・ 初期には肺の間質(気管支周囲、血管周囲や小葉間隔壁)に水分が貯留した状態(…間質性肺水腫)であり、進行すると水分は肺胞内へ漏出する(…肺胞性肺水腫)。その間、水分は胸腔内にも漏出し胸水となる。
- ・ 左心不全など肺静脈圧が上昇することで起こる心原性(血行動態性)肺水腫の他に、肺毛細血管の炎症や薬剤などによる毛細血管壁の透過性亢進による心臓以外の原因で起こる非心原性肺水腫がある。

## 【画像所見】

- ・ 気管支周囲の水分は、肺門から末梢に向かう気管支壁の肥厚(浮腫)としてみられる。その気管支壁の横断面は輪状にみえ、bronchial cuffing sign という。
- ・ 小葉間隔壁の水分は、胸膜に直交する短い線状影としてみられ、これを Kerley の B line<sub>[point-2]</sub> という。
- ・ 付随する所見としては、胸水貯留や上大静脈の拡張などがある。
- ・ 肺胞性肺水腫では、肺胞内に貯留した水分が陰影をつくる(いわゆる肺泡パターン)。
- ・ 多くは肺門部を中心に左右対称性に浸潤影が広がる(いわゆる butterfly shadow)。
- ・ 心不全でみられる胸部単純 X 線所見<sub>[point-3]</sub> は、心陰影拡大<肺静脈の拡張<Kerley の B line<胸水<肺水腫の順に重症度が増す。

## [point-2] Kerley line (図 2)

小葉間隔壁の肥厚による線状影をいう。

- ① A line: 肺門から末梢にかけて伸びる線状影
- ② B line: 下肺野に胸膜側に直角にみられる線状影
- ③ C line: 下肺野にみられる網目状の陰影

\* Kerley の B line が小葉間隔壁の浮腫に伴う陰影で、肺うつ血に伴う所見である(= septal line)

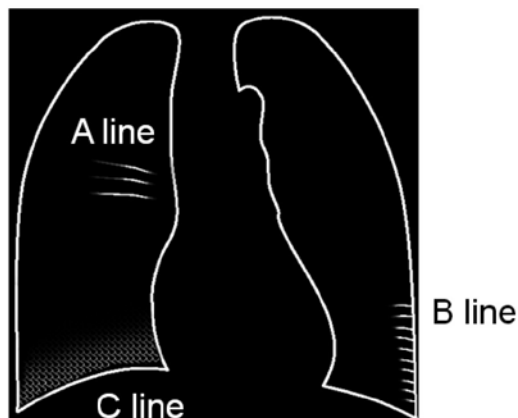


図 2 Kerley line

[point-3] 心不全でみられる胸部単純X線所見 (図3)

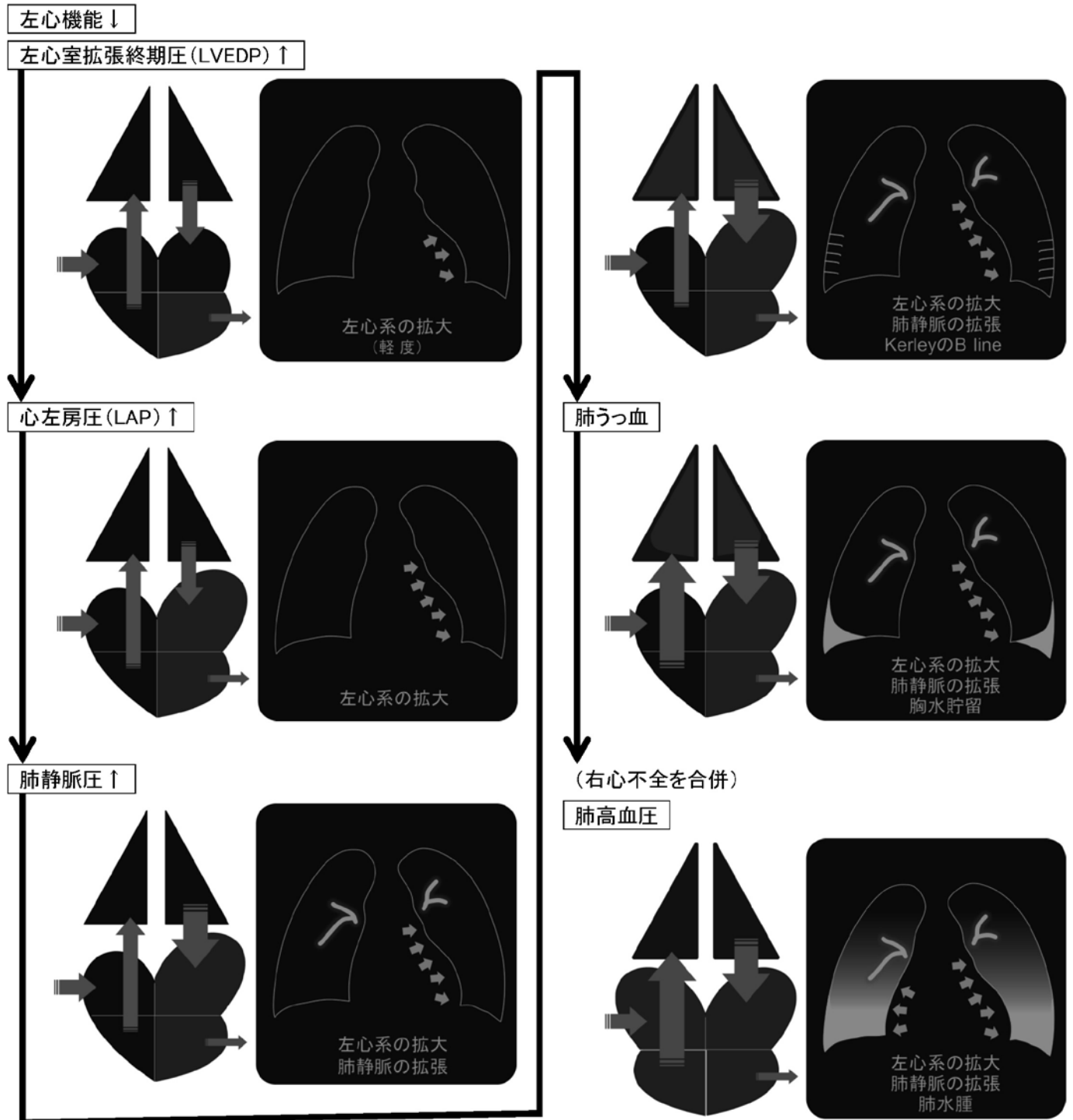


図3 心不全でみられる循環動態と胸部単純X線所見の関係

## Case 3 : 肺結核 Tuberculosis

## 【病態・病理】(図4)

## 一次結核

- ・ 肺で感染した結核菌は、肺胞マクロファージにより初感染巣からリンパ行性に肺門リンパ節、縦隔リンパ節に達する。この状態が顕在化(発病)したのが一次結核である。
- ・ 初感染病巣は5歳以下にみられることが多く、感染しても不顕性で自然治癒することが多い。
- ・ 結核菌が血行性に全身に散らばり、各臓器に病巣を作ることがある(粟粒結核<sup>[point-4]</sup>)。

## 二次結核

- ・ 初感染病巣内の結核菌はその後死滅せず、加齢など個体の免疫力低下により再増殖すると症状が出現する。この状態が二次結核である。
- ・ 好気性である結核菌は肺尖部で増殖することが多く、しばしば病巣の中心は乾酪壊死となり、その周囲にはラングハンス巨細胞や類上皮細胞が取り囲むようになる(肉芽腫<sup>[point-5]</sup>の形成)。
- ・ 被包化された病巣の内容物が喀出されると空洞が形成され、菌は経気道的に散布されることになる。

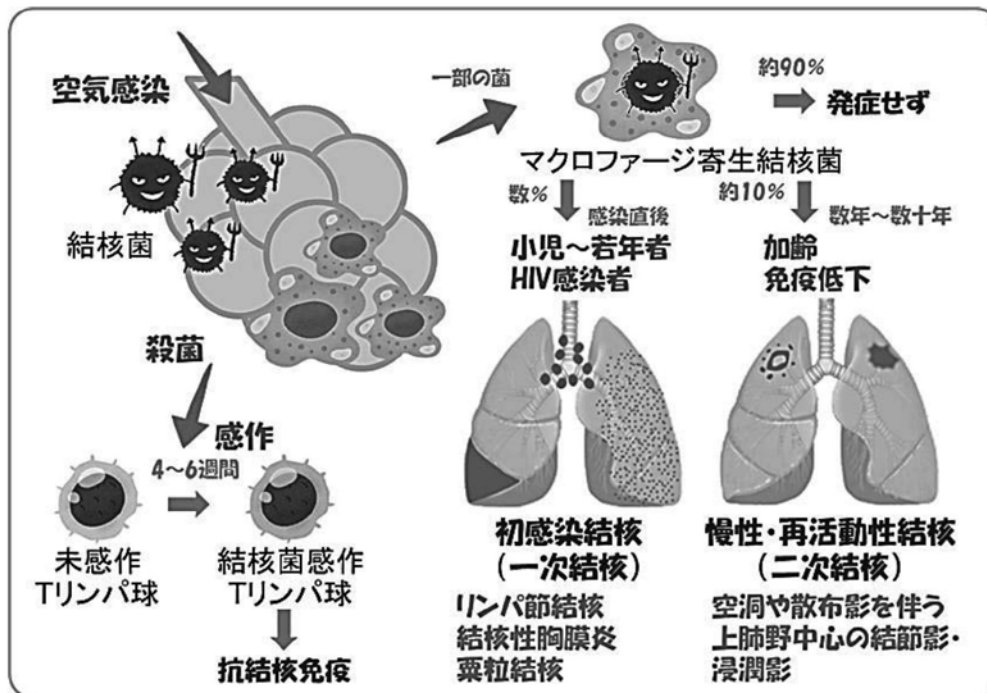


図4 肺結核の発症機序

## [point-4] 粟粒結核

- ・ 免疫能が低下している患者に多く発症し、一次結核、二次結核のいずれでも生じる。
- ・ 結核菌が血行性に肺野全体に散布され、多数の粟粒大の結節が形成される。
- ・ 単純X線写真では1～2mmの小粒状影が肺野にびまん性にみられる。高分解能CTでは二次小葉とは無関係のランダムな分布を示す(甲状腺癌など転移性肺癌との鑑別を要する)。
- ・ 全身に播種することがあり、特に骨髓炎を合併する。
- ・ ツベルクリン反応<sup>[point-6]</sup>は陰性化することが多い。

[point-5] 肉芽腫(「にくげしゅ」と読む!「にくがしゅ」と読まないこと!)

マクロファージ系の細胞を中心とし、他の炎症細胞も集積して形成される境界が明らかな慢性炎症病巣である(図5)。

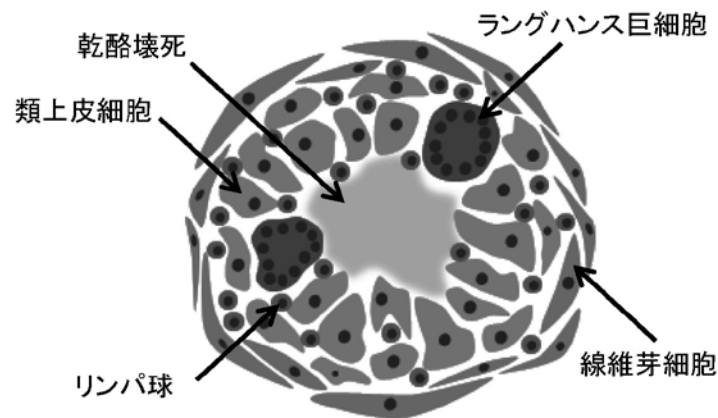


図5 肉芽腫

[point-6] 結核の検査

① ツベルクリン反応検査

精製ツベルクリン(PPD)を皮内に注射し、細胞性免疫反応(Ⅳ型アレルギー反応)を利用して抗結核免疫の有無を判定する検査法である(図6)。

**接種**

**判定**

48h

| 反 応                           |  | 判 定       | 符 号   |
|-------------------------------|--|-----------|-------|
| 発赤の長径9mm以下                    |  | 陰 性       | (-)   |
| 発赤の長径10mm以上                   |  | 弱 陽 性     | (+)   |
| 発赤の長径10mm以上で硬結を伴う             |  | 中 等 度 陽 性 | (++)  |
| 発赤の長径10mm以上で硬結に二重発赤、水泡、壊死等を伴う |  | 強 陽 性     | (+++) |

図6 ツベルクリン反応検査の判定

② 抗原特異的インターフェロン- $\gamma$ 遊離検査(IGRA)

結核菌特異抗原により全血あるいは精製リンパ球を刺激後、産生されるインターフェロン $\gamma$  (IFN- $\gamma$ ) を測定し、結核感染を診断する方法である。現在、T-スポットとクオンティフェロン(QFT)の2種類がある(図7)。

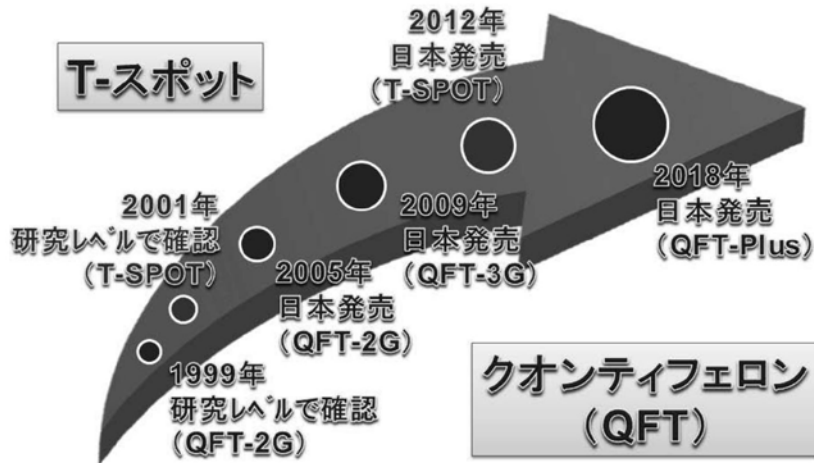
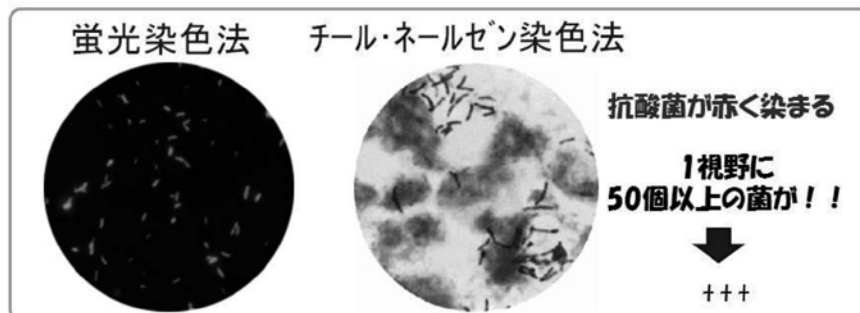


図7 IGRA 開発の歴史

## ③ 喀痰検査(塗抹検査)

喀痰をスライドガラスに直接塗りつけて固定し、抗酸性染色(チール・ネールゼン染色や蛍光染色)を施した標本を顕微鏡下で観察し、抗酸菌の有無を調べる方法である(図8)。



| 記載法 | 蛍光法<br>(200倍) | Ziehl-Neelsen法<br>(1000倍) | 備考<br>(ガフキー号数) |
|-----|---------------|---------------------------|----------------|
| —   | 0/30 視野       | 0/300 視野                  | G0             |
| ±   | 1~2/30 視野     | 1~2/300 視野                | G1             |
| 1+  | 1~19/10 視野    | 1~9/100 視野                | G2             |
| 2+  | ≥ 20/10 視野    | ≥ 10/100 視野               | G5             |
| 3+  | ≥ 100/1 視野    | ≥ 10/1 視野                 | G9             |

図8 喀痰検査の判定

## 【画像所見】

### 一次結核

- ・ リンパ節結核として肺門、縦隔リンパ節の腫脹がみられ、中葉ないしは下葉に向かい濃厚な浸潤影が広がる。
- ・ 結核性胸膜炎では肺野に所見がなくとも胸水貯留がみられる。

### 二次結核

- ・ 経気道的散布により小葉中心性の結節影あるいは分枝状の線状影と小結節 (tree in bud: 細気管支とその末梢の乾酪壊死巣) が特徴的である (図 9)。
- ・ 病変が拡大すると浸潤影やコンソリデーションとしてみられるようになり、乾酪壊死巣が気道に喀出された結果、空洞病変を形成する。なお、気管支透亮像 (air bronchogram) を伴う場合は活動性病変を示唆する所見であるが、画像だけでは判断できない。
- ・ 病変は上～中肺野 (S1、S2、S6) に好発し、胸膜炎を伴うこともあるが、リンパ節腫大はまれである。

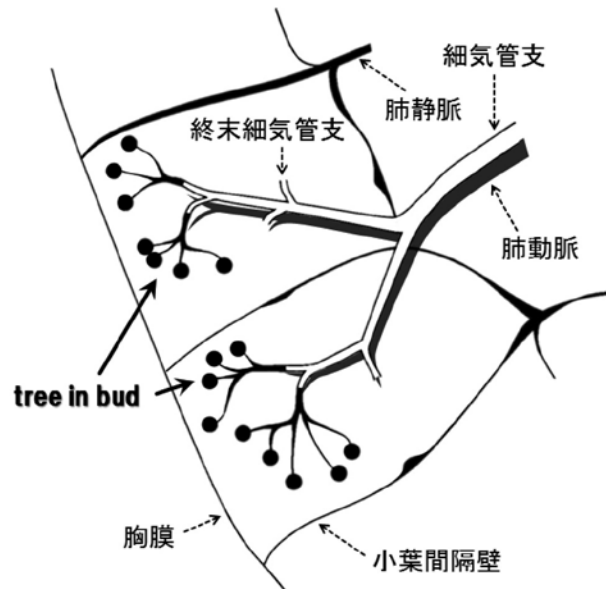


図 9 tree in bud

# キヤノンCT/MRI 最新Topics

## — 超高精細・定量化から人工知能活用技術まで —

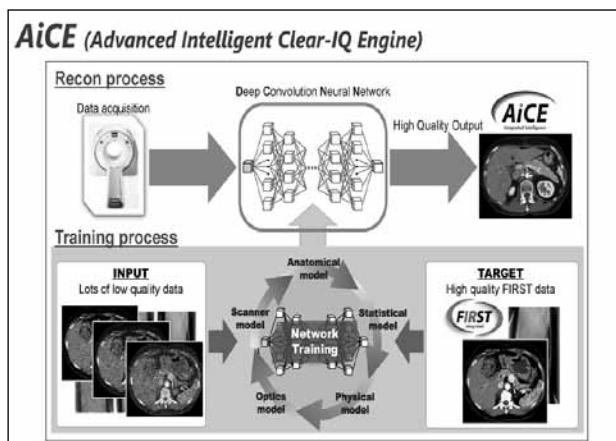
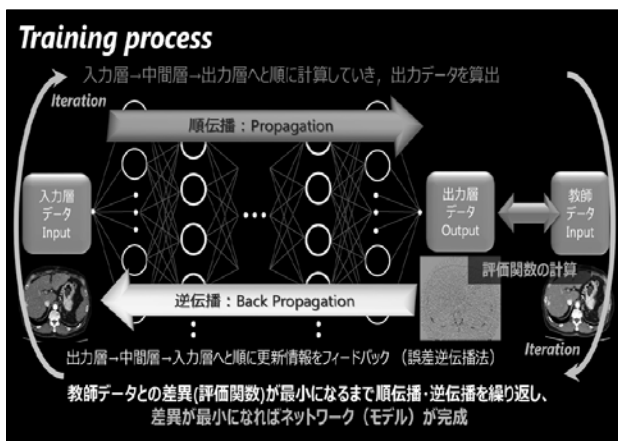
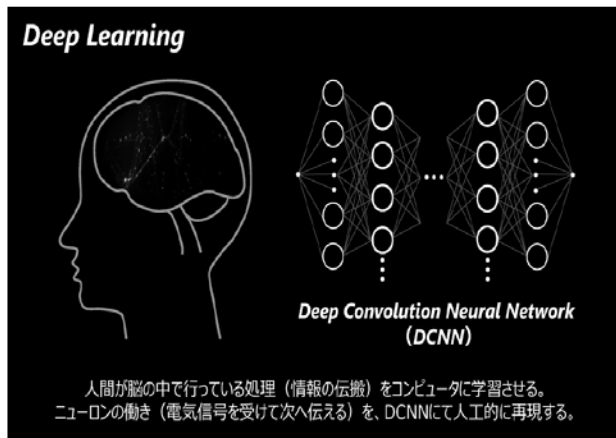
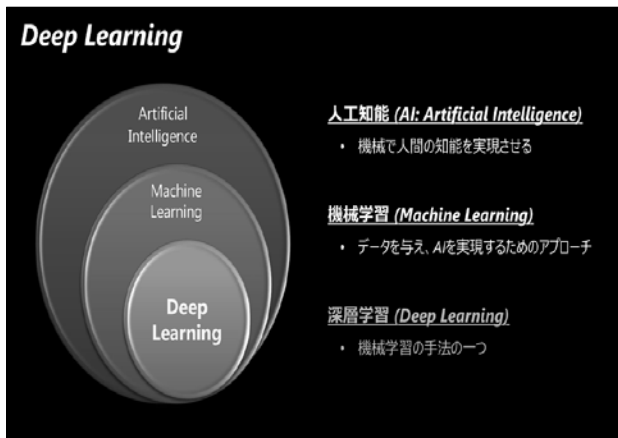
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

関東支社営業推進部 MRI担当

天野 清香

関東支社営業推進部 CT担当

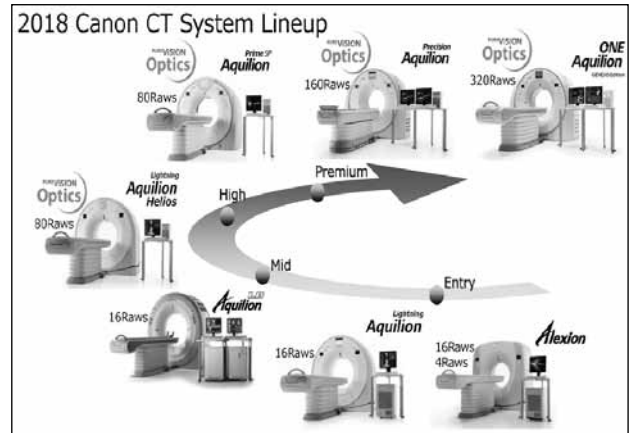
後藤 和馬



**AiCE** Deep Learning Reconstruction  
-Advanced intelligent Clear-IQ Engine-

- ✓ 幅広い線量帯において高いノイズ低減効果
- ✓ 高周波ノイズのみならず低周波ノイズも低減、低線量下においても安定したノイズ低減効果
- ✓ 低線量下においても粒状性を維持、低コントラスト検出能が向上
- ✓ 従来の再構成法と比べ空間分解能が向上
- ✓ 画像再構成時間はMBIR (FIRST) の1/3~1/5程度

Precision Aquilion



**Made For life**

患者さんのために、あなたのために、そして、ともに歩むために。

人々の健康やかな生活の実現のために、「いのち」向き合う。

「Made for life」はキヤノンメディカルシステムズの経営理念を象徴するスローガンです。

**Canon**  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

平成30年度 第5地区 卒後教育講座

**キヤノンCT/MRI 最新Topics**

超高精細・定量化から人工知能活用技術まで・

キヤノンメディカルシステムズ 関東支社  
MR担当 後藤和馬  
2018年11月8日

Canon キヤノンメディカルシステムズ株式会社

Vitrea for MRI  
Multi-vendor collaboration

**VITAL**

Medis, Olea medical, Canon

Improved diagnosis for life™

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

**For Routine & Research**  
ルーチンからリサーチまで、幅広くお使いいただくことが可能です。

● Follow Up

過去画像との変化が見たい  
毎日同じ断面では観れない  
他院紹介  
同じスライスで比較できたら  
腫瘍も人も変わるし...  
装置が違ってもある

活用例) 多発性嚢胞性腎臓病、脳腫瘍、微小脳梗塞 など

**For Routine & Research**  
ルーチンからリサーチまで、幅広くお使いいただくことが可能です。

● SURE Volume Synthesis | multi-modality volume fusion

Fusion: CTA & 3D T2WI

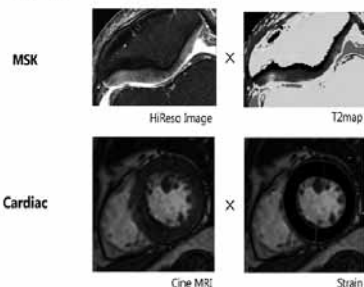
Auto registration

使用例) ✓ 腫瘍検出前診断 | 脳腫瘍 造影T1 (MR) & デンソル (MR) & 骨情報 (CT)  
✓ 病変把握 | 脳腫瘍 造影T1 (MR) & 血管 (MR)

## For Routine & Research

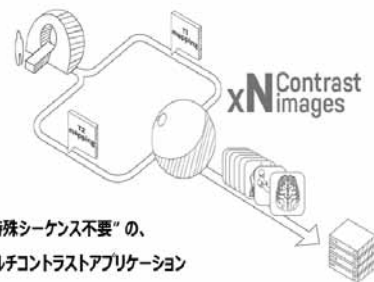
ルーチンからリサーチまで、幅広くお使いいただくことが可能です。

### ● 形態 × 質



## Olea Nova+

CONVENTIONAL SEQUENCES, MULTIPLE CONTRASTS, ONE SOLUTION.



Olea Imager #4 MRvolution 25-一部抜粋

## Olea Nova+

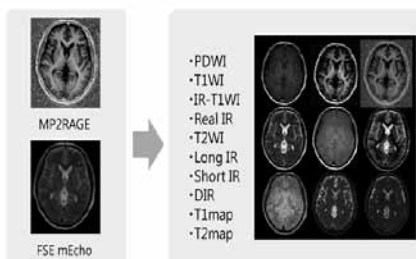
Olea社が提供する、新たなSynthetic MRI

### 5つの特長



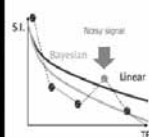
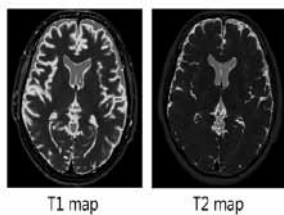
Olea Nova+

“1 click”で、任意の画像コントラストを作成  
プリセット登録した任意のパラメータに即して、自動で作成されます。



Olea Nova+

“強調画像”だけでなく、“定量マップ”も。  
T1map, T2mapの値計測、保存、PACS転送が可能です。

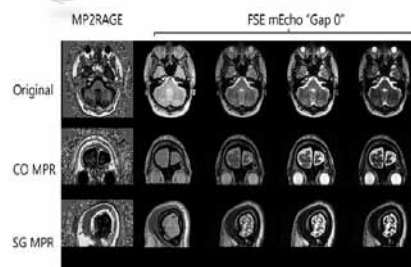


“Bayesian”を用いた、正確なマップの算出



Olea Nova+

Volume データ解析  
ギャップを詰めた撮像で、3Dデータとして扱うことが可能です。



Reso 0.6 x 0.6mm, ST 1.2mm

## Made For life

患者さんのために、あなたのために、そして、ともに歩むために。

人々の健やかな生活の実現のために、「いのち」と向き合う。

「Made for Life」はキヤノンメディカルシステムズの経営理念を象徴するスローガンです。

Canon  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

# 「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろう ～それ伝わっているか?～

栃木県診療放射線技師会 理事 金田 幹雄  
栃木県診療放射線技師会 理事 木村 友昭

明倫会今市病院  
獨協医科大学病院  
栄仁会川上病院

原 享弘、千種 佳翔  
坂本 将規  
江連 真一

「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろう  
～それ伝わっているか?～

## 技師会から伝えたいこと

栃木県診療放射線技師会 業務執行理事  
金田 幹雄

1. 業務拡大に伴う統一講習会の受講について
2. 柔道整復師法一部改正案に対する反対表明決議
3. 医療被ばく施設認定の取得について

1. 業務拡大に伴う統一講習会の受講について
2. 柔道整復師法一部改正案に対する反対表明決議
3. 医療被ばく施設認定の取得について

2015年3月に診療放射線技師法の一部が改正され、新たな業務が加わった。

医療安全の確保の観点から、新たな業務を行うに先立って、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受ける必要がある。

## 業務拡大に伴う統一講習会の実施

### 会員受講率

全 国 31.93% (平成29年9月末現在)

栃木県 57.0% (平成30年1月末現在)

100%の診療放射線技師の受講を目指す

## 統一講習会は 平成31年度までの予定です

平成30年度は、7月、11月、平成31年2月に開催予定

2020年の新卒からは新しい診療放射線技師が医療界に仲間入りする。次期診療放射線技師法の改正では、新しい診療放射線技師と統一講習会修了者が優先対象となる。既卒の方々は、古い診療放射線技師として取り残されないよう早めの受講をお願いします。

日本診療放射線技師会誌 2018.vol.65 no.783 巻頭言 より抜粋

1. 業務拡大に伴う統一講習会の受講について
2. 柔道整復師法一部改正案に対する反対表明決議
3. 医療被ばく施設認定の取得について

柔道整復師の団体が  
第193回通常国会に  
「放射線業務ができる内容の法律改正案」を  
提出した

#### 柔道整復師法の一部改正案

受験資格に放射線衛生学、エックス線撮影技術学、放射線安全管理学を加えることで、脱臼または骨折の状態を確認するためのエックス線撮影を行うことができる。

#### 柔道整復師法の一部改正案

受験資格に放射線衛生学、エックス線撮影技術学、放射線安全管理学を加えることで、脱臼または骨折の状態を確認するためのエックス線撮影を行うことができる。

「柔道整復師法の一部を改正する法律案に対する反対表明決議」

「医師、歯科医師、診療放射線技師のみが放射線を人体に照射することができるから」

平成30年2月10日 第6回理事会において承認

JARTIにおいても臨時理事会を開催し、反対表明決議を厚生労働省に提出。  
診療放射線技師制度に関する懇話会の  
公明党石田祝稔衆議院議員、自民党橋本岳衆議院議員を訪問し反対決議を説明。

与党が法案に賛成すれば法案は国会を通過する

法律案を阻止するためには政治の力が必要

診療放射線技師を国会へ！

日本診療放射線技師連盟と連携し、  
反対運動を展開中！

日本診療放射線技師連盟の会員数が少ない

日本診療放射線技師連盟の会費は、  
年間2,000円

日本診療放射線技師連盟への入会を！

1. 業務拡大に伴う統一講習会の受講について
2. 柔道整復師法一部改正案に対する反対表明決議
3. 医療被ばく施設認定の取得について

日本診療放射線技師会では  
「安心できる放射線診療」を国民の皆様へ  
提供するための事業として、  
医療被ばく低減施設の認定を行っている。

平成32年度までに各県3～5施設の認定施設  
があれば、診療報酬改定で加算を考慮する  
との動きあり

JARTでは、  
各県5施設は医療被ばく低減施設を認定した  
い

医療被ばく低減施設認定を取得しよう！

### 技師会から伝えたいこと

1. 業務拡大に伴う統一講習会の受講
2. 柔道整復師法一部改正案に対する反対表明決議と  
日本診療放射線技師連盟への入会
3. 医療被ばく施設認定の取得

### 第34回日本診療放射線技師学術大会

会 期：平成30年9月21日（金）～23日（日）  
場 所：海峡メッセ下関・下関生涯学習プラザ  
演題募集：平成30年2月5日（月）～5月15日（火）正  
午

平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会

会 期:平成30年6月30日(土)～7月1日(日)  
場 所:朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター  
演題募集:平成30年2月1日(木)～3月15日(木)



## 伝える？ 伝わる？

第2地区理事 ○木村友昭

栃木県診療放射線技師会 第2回第2地区卒後講座 2/24/2018



## 日本診療放射線技師会



- ・ 技師会: 職能団体
- ・ 日本診療放射線技師会の大きな役割  
国民と協働し、医療者と協働し、質の高い医療を提供  
(医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について  
(医政発0430第1号)より)
- ・ 診療放射線技師のさらなる役割
  - ・ 画像診断における読影の補助を行うこと
  - ・ 放射線検査等に関する説明相談を行うこと  
(JART HP 技師会からのメッセージ 中澤会長挨拶より)

2

## 栃木県診療放射線技師会



- ・ 目標  
「わかりやすい技師会」  
会員の皆様と情報共有が重要  
(あすたーと Vol.42  
平成29年会長再任のあいさつより)

伝える

5

## 今回の卒後講座の意図

- ・ 卒後講座にできるだけ多くの会員が参加できるような企画を考える
- ・ 集まった会員同士が情報共有できるようなそんな場を提供したい  
(2017会長新年のあいさつより)

関心

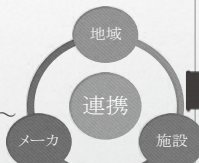
参加

共有

4

## H29年度第1回卒後講座

- ・ テーマ  
「地域医療」を進め、  
「地域ブランド」をつくろう  
～地域と施設とメーカーをつなごう～
- ・ タイトル  
その施設どんなところ？  
～HPには載っていない本音の話～



5

## H29年度第1回卒後講座

つながる



6

7

## 8

## 32

①

## 22

## 2

## 検査説明書

### 一般撮影検査を受けられる方へ

#### ■ 一般撮影検査とは

エックス線を透過した部位に応じて、身体を透過した情報から疾患や骨折の有無を調べる検査です。検査部位によって姿勢（立位・臥位）や体の向きが異なります。また、より高い画質を撮影するために造影剤の投与を受ける場合がありますので造影剤アレルギーの表示に従ってください。

#### ■ 検査にかかる時間

部位によって異なりますが、ひとつの部位の撮影に関する時間は数分です。造影剤の投与が多くなるほど、検査時間も長くなります。

造影剤の投与と呼吸を止めなければならない検査は数分です。詳しく診たい場合の撮影は、15分以内の場合に撮影するため、検査時間が10～20分程度から場合があります。

#### ■ 検査の注意点

禁忌事項  
・妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず医師に知らせてください。



15

## FAQ

### 一般撮影検査FAQ

#### 【検査前】

#### Q 一般撮影はどんな検査ですか？

エックス線を必要な部位にあててカラダを通過した情報から疾患や骨折の有無を調べる検査です。検査する部位によって異なりますが、立った姿勢、寝た姿勢または座った姿勢で検査します。呼吸で動く検査部位（胸部など）の場合は息止めの合図を致しますので合わせてください。

#### Q 着衣のまま検査できますか？

胸部を撮影する場合、ブラジャー、アクセサリーなどの金属類をカラダから外していただき肌着で検査を行います。施設によっては、撮影用の検査着を使用します。また、撮影する部位によって着衣を脱いでいただくことがあります。

## 放射線検査説明に関するガイドライン

### ガイドラインの目的、対象、構成

本ガイドラインは厚生労働省通知を受け、診療放射線技師の業務として基本ベースラインでの検査説明が行えること、説明責任を果たすことを目的としている。  
従って、対象者は全ての診療放射線技師であり、特に検査説明マニュアル等の整備が十分でない施設を鑑みて編んでいる。

ガイドラインは「はじめに」で述べられている通り、次の4項目で構成した。

1. 単純撮影（非造影検査）領域
2. 造影検査領域
3. MRI検査領域
4. 核医学検査領域

17

## 放射線検査説明に関するガイドライン

### 1. 検査概要

#### 1) 目的について

- ・検査の必要性の説明と理解ならびに、良質な検査施行の協力依頼をすること。
- ※☐ 検査名および検査部位についての確認と説明
- ※☐ 診断上の必要性の説明

#### 2) 内容について

- ・可能な限り検査詳細の説明を行い理解を得ること。また、メディカルスタッフとしてできる概要説明をすること。
- ※☐ 検査方法や体位（立位、臥位）、方向、回数等の説明
- ※☐ 位置決め時に身体に触れる説明

#### 3) 時間について

- ・所要時間の説明と状況変化における検査延長の協力を依頼すること。
- ※☐ 検査にかかる所要時間の説明
- ※☐ 検査時に静止または呼吸停止する時間の説明
- 待ち時間についての説明
- 状況による検査延長の説明

## 放射線検査説明に関するガイドライン

国民目線において求められる放射線検査説明については明確で十分な理解の上、安心・安全はもとより高質の医療提供が求められている。

このガイドライン作成にあたっては、実務的運用で活用いただきたい一心で纏め上げてきた。それ故、各施設にて紙媒体にして操作室等の現場に掲示してご使用いただくことをお願いしたい。

放射線検査説明については、我々診療放射線技師一人ひとりが行う責任があることを自覚いただきたい。そして、このガイドラインが会員皆様の一助になり、全国民へ還元されることになれば幸いである。

“あたり前の事を確実に、正確に伝える事”をお願いしておわりの言葉とする。

あたり前のことを確実に、正確に伝える

19

## 本日のアウトライン

### ・検査説明

### ✓「伝える」と「伝わる」



20



イライラ

落ち込み

21

## 「伝える」と「伝わる」

- ・伝える  
情報や、人の言葉などを他の人に知らせる。
- ・伝わる  
事柄・情報や、ある人の意向が他の人に知られる。

（大辞林）



12

## 「伝える」と「伝わる」

### 伝える

- 相手がわかっていようがまいが伝えること
- 自分の意思を押し通すエゴ
- 一方向

### 伝わる

- 相手が伝えたことを理解する
- 相手の反応を観察する
- 双方向

効果は劇的に変わる

23

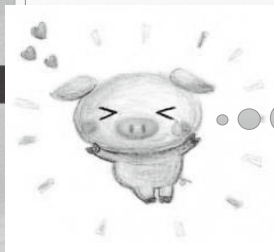
## 「伝える」のイメージ



何が言いた  
いのかな？  
よくわからな  
いな・・・

24

## 「伝わる」のイメージ



何が言いた  
いのか、よく  
わかった！

25

## 会話の基本の4つのステップ

### 聴く

- 「なるほど」「それで」

### 共感する

- 「それは大変でしたね」

### 一緒に考える

- 「どうしたらいいと思いますか？」

### ほげます

- 「いっしょにがんばりましょう」

26

## 質問の仕方

### 閉ざされ た質問

- 相手が「はい」「いいえ」あるいは一言で答えられるような質問形式のこと
- 質問する側は得たい情報だけを得ることができ、答える側は答えるのに苦労しなくて済みます

### 開かれ た質問

- 応答内容を相手に委ねる質問形式のこと
- 「どのようなことでいらっしゃいましたか？」
- 会話を盛り上げたり、コミュニケーションを深めたりする

27

## それぞれの土俵

自分

第三

相手

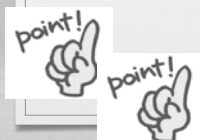


相手の気持ちになって  
コミュニケーション

28

伝える？  
伝わる？

本日の  
まとめ



### 検査説明

あたり前のことを確実に、  
正確に伝える

### 「伝える」と「伝わる」

相手の気持ちになって  
コミュニケーション

29

## 参考図書



30

テーマ

「地域医療」を進め、**第2弾**  
「地域ブランド」をつくろう  
～ それ伝わっているか？ ～

伝わっているか？



31

施設における検査説明  
わかりやすく伝える工夫

明倫会 今市病院  
原 享弘  
千種 佳翔

接遇

- 思いやりの心で接する
- そのために相手を理解する

高齢者

- 今市病院は高齢の患者さんが多い
- 高齢者といっても人それぞれ体の状態は違う

接遇

- 挨拶をする
- 患者さんの話を聞く
- 笑顔

話し方

- はっきり話す
- 大きな声で話す
- ゆっくり話す
- ダラダラ話さない(簡潔に)

伝え方

- わかりやすい言葉を使う
- ジェスチャーで伝える

## まとめ

一人一人コミュニケーションをとり、最大限のサポートができるようにしていく

## 施設における検査説明

～わかりやすく伝える工夫～



獨協医科大学病院 放射線部

◎坂本将規

伊藤佳奈 只木亜実 益子大世

## 本日の内容

- 病院の概要
- 新人技師の体験談
- P-METに参加して
- 当院での工夫



## 病院の概要



病床数: 1167床  
診療放射線技師数: 68名  
外来患者数(1日平均): 2118名  
入院患者数(1日平均): 1007名



## ある一日の検査数

| 部門   | 検査数(件) |
|------|--------|
| 一般撮影 | 317    |
| MRI  | 73     |
| CT   | 148    |
| 血管造影 | 15     |
| 透視   | 42     |



## 本日の内容

- 病院の概要
- 新人技師の体験談
- P-METに参加して
- 当院での工夫



## 新人研修スケジュール

| 期間     |    |    |    |    |    |     |      |     |     |    |    |  |
|--------|----|----|----|----|----|-----|------|-----|-----|----|----|--|
| 4月     | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月  | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |  |
| 単純X線撮影 |    |    |    | CT | 透視 | 救急  | アンギオ |     | MRI |    | 予備 |  |



## 病院での体験談①

～パノラマX線撮影検査～

技師「入れ歯や外せる歯などがあれば外してください」

患者「はい」

撮影した画像を確認  
⇒入れ歯があった



## その後・・・

- ・患者さんに入れ歯を外してもらう
- ・もう一度撮影することに



- ・患者さんに負担をかけてしまった
- ・無駄な時間が生まれた



## このときの対応で悪かった点

聞き方に問題があった

⇒指示から質問に

例:「入れ歯はありますか？」

一方通行な伝え方では相手に  
伝わっていない可能性が...



## 病院での体験談②

～胸部X線撮影検査～

技師「失礼ですが刺繍がついているお洋服なので  
着替えていただけますか」

患者「この前も同じ洋服でレントゲンを撮ったから  
着替える必要ないでしょ」

過去画像を確認

⇒前は胸部ではなく腕の撮影だった



## その後・・・

- ・今回は撮影する部位が違う
- ・洋服の腕の部分には刺繍やプリントがついていない
- ・胸部の撮影ではプリントが写ってしまう



患者さんにしっかりと理由を説明して  
検査を行ってもらうことに



## このときの対応でよかった点

- ・丁寧な言葉遣い、対応
- ・十分な検査の説明
- ・気になっていること、不安なことを察知

患者さんの不安を取り除く  
ことが大切！



## 本日の内容

- ・病院の概要
- ・新人技師の体験談
- ・P-METに参加して
- ・当院での工夫



## 診療放射線技師新人研修会に参加して

主催: 公益財団法人 医療研修推進財団

共催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

場所: 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル31階

| 1日目                          | 2日目              | 3日目                                 | 4日目                               | 5日目                                       | 6日目                          | 7日目                          | 8日目                          |
|------------------------------|------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 平成29年<br>7月29日<br>(土)        | 受付<br>開会式        | 職業倫理と医療安全の両立<br>新田隆雄(大阪大学)<br>佐田 達朗 | 産業技術と医療技術の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生 | 医療安全の両立<br>石ノ森大輔(石ノ森大輔)<br>とまきとふく(とまきとふく) | とまきとふく(とまきとふく)<br>佐々木 健      | とまきとふく(とまきとふく)<br>佐々木 健      | とまきとふく(とまきとふく)<br>佐々木 健      |
| 2日目<br>平成29年<br>7月30日<br>(日) | 医療倫理の両立<br>佐田 達朗 | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生        | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生      | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生              | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生 | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生 | 職業倫理の両立<br>山本啓生(豊田)<br>山本 啓生 |



病院に限らず、対人関係においても最初のポイントとなるのが第一印象

人の第一印象の評価のプロセスは・・・

- ・外見
- ・態度
- ・話し方
- ・話の内容

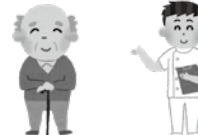
検査説明をする上でも重要！



・態度・・・患者さんが不快にならない  
(馴れ馴れしい態度、威張った態度、時間を気にするなど)

・話し方・・・笑顔、挨拶、クッション言葉など

・話の内容・・・難しい言葉(専門用語など)を使わない



## クッション言葉

・言葉の前に付けるワード

恐れ入りますが  
お手数ですが  
申し訳ございませんが

・言葉の最後に付けるワード

～していただけますか  
～していただけないでしょうか



クッション言葉を付け加えることで相手への思いやり、へりくだる気持ちを伝えることができる！

## 患者さんの不安を解消するには・・・

### 共感の心構え

先入観を捨てて相手を批判しない  
⇒素直な気持ちで聞くこと

相手の言葉だけではない  
⇒感情を読み取ること

相手の言いたいことを要約する  
⇒言い換えてあげること

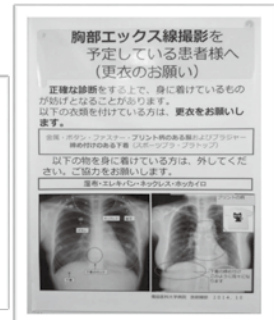


## 本日の内容

- ・病院の概要
- ・新人技師の体験談
- ・P-METに参加して
- ・当院での工夫



## 当院での工夫



## 当院での工夫



## 当院での工夫



## まとめ

- 一方的な伝え方では相手が理解していない可能性がある  
⇒相手の反応を見ながら確認して相手が理解することが大切
- 患者さんの不安を解消することで検査説明もスムーズに行える



## 最後に

伝える → 伝わる



平成29年度  
第2地区 第2回卒後教育講座



## 川上病院における検査説明 ～ わかりやすく伝える工夫 ～

医療法人栄仁会川上病院  
X線室 江連真一

1

## はじめに

X線検査前の僅かな時間に、患者さまの頭の中に分かりやすく検査をイメージさせるかがポイントです。(いい意味でわざとらしく)患者さまと頻繁に雑談をし、安心感を与えることが大切だと思います。  
私は患者さまから、「しんちゃん」とニックネームで呼ばれております。患者さまと気軽に会話できる環境ですが、プライバシーなどには十分注意します。

2

## ● 撮影前 (監視モニターを見ながら)

待合廊下の患者さまを確認  
検査説明前の心構えとして、患者さまの状態をある程度把握。

自分からお声かけして、安心感を与えております。



3

## ● リウマチ科にて

リウマチ関係では撮影部位が多く、撮影順番変更、撮影時間が長くなる場合があることをあらかじめ外来で患者さまに説明。  
ポンプの点検係なので、把握しやすい環境です。



4

## ● 医療安全委員会報告用チェックリスト

- |          |          |
|----------|----------|
| ・IDミス    | ・オーダー漏れ  |
| ・氏名間違い   | ・オーダー間違い |
| ・生年月日間違い | ・再撮影     |
| ・撮影部位間違い | ・異物の写り込み |
| ・ドクター印無し | ・その他     |

検査説明はこれに則って行います。  
ミスの際にはその都度記録、委員会に報告、改善策に役立ちます。

5

## ● X線検査説明のポイント

- ① 正当化、最適化、線量制限  
医師の具体的な指示、患者さま同意、最適なポジショニング、線量を少なくするための対策
- ② 再現性  
他院からの紹介患者さま、経過観察では同じポジショニングで一定の画像を提供する必要性
- ③ トリアージによる検査順番の変更 (救急など)
- ④ 再撮影時の対応  
再撮影の際はなぜ行うのかを患者さまに伝え同時に医療安全委員会にヒヤリハットの提出

6

- 検査に関する掲示、パンフレット  
撮影室入口には、技師のプロフィール、およその被ばく線量、生活の中の放射線などを文章でお知らせしております。
- 不審者等  
不審者、迷惑行為者、犯罪者、暴力団員等、浮浪者、酩酊者などの撮影の際は警察署への通達、ときには警察官の同伴の上撮影を行うことを了承。

7

## 説明の実際

## ① 一般撮影

～～ 待合にて ～～

身体が不自由な方の撮影、リウマチなど撮影部位が多い患者さまには、時間のかからない方を先に撮影する場合がありますことを了承頂く。

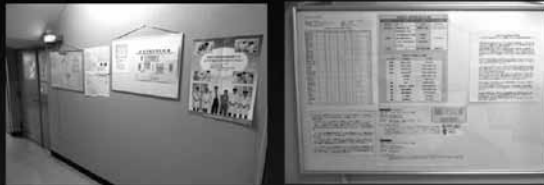
(撮影室が一室だけなので、臨機応変に対応)

指輪を外す時間が効率を悪くしているため、外来にて外してもらいます。(きつい方は私がタコ糸を用いて外しております)

8

## ● 撮影室入口の掲示物

撮影室待合  
X線検査に関するトピックス、放射線に関する掲示をしております。



9

## ● 撮影室入口の掲示物

撮影技師プロフィール  
どんな経歴なのかを患者さまにお知らせ  
(対応の際に有効です)

卒業学校、趣味、得意分野なども掲載しているので、検査説明時についてい長話になることも。



10

## ● 撮影室入口の掲示物

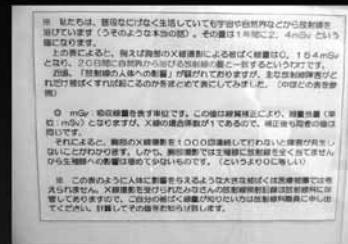
各撮影部位の線量などを紹介  
(患者さまも熱心に見ております)

| 部位      | 撮影の種別 | 照射野の大きさ | 管電流時間積算値(mAs) | 線量率(mR/h) | 線量(mR) | グレイ(Gy) | 放射線量率(mSv/h) |
|---------|-------|---------|---------------|-----------|--------|---------|--------------|
| 胸部(正面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 胸部(側面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 腹部(正面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 腹部(側面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 股関節(正面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 股関節(側面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 腰椎(正面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 腰椎(側面)  | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 大腿骨(正面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 大腿骨(側面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 足関節(正面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |
| 足関節(側面) | 標準    | 35x45   | 200           | 0.014     | 0.005  | 0.0001  | 0.005        |

11

## ● 撮影室入口の掲示物

自然放射線の掲示で患者さまに安心感を！  
(X線撮影線量との比較の説明に有効)



12

## ● 撮影室入口の掲示物

放射線障害に関する掲示  
(障害には閾値がある)

| 照射部位 | 照射線量         | 障害                                                |
|------|--------------|---------------------------------------------------|
| 全身   | 1000 mSv以上   | 急性放射線障害                                           |
| 全身   | 5000 mSv以上   | 骨髄抑制、造血機能障害                                       |
| 全身   | 10000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害                                |
| 全身   | 20000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害                         |
| 全身   | 30000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加            |
| 全身   | 40000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害       |
| 全身   | 50000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |
| 全身   | 60000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |
| 全身   | 70000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |
| 全身   | 80000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |
| 全身   | 90000 mSv以上  | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |
| 全身   | 100000 mSv以上 | 骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、生殖機能障害、二次がん発生のリスク増加、臓器障害、死亡リスク |

13

## ● 撮影準備

患者登録の際、患者さまの体の状態把握が重要。  
日光地区は狩猟に携わっている方が多く、体内に銃弾がある場合があります。皮膚面の遺物と間違わないよう注意します。  
患者さまにさりげなく職歴、被弾歴などを聞きます。  
担当医にも異物がある旨を報告。

患者コメント

左肩に散弾銃の弾5個あり

14

● 着替え

膝下まで隠れる検査衣を採用  
恥ずかしさを和らげる



15

● 基準線の確認

腰椎撮影時のヤコビー線、胸椎撮影時の  
剣状突起確認は、患者さまに実際に指で  
示してもらいます。サージカルテープで  
目印を付けておきます。

女性は技師が直接触れるのを嫌がるので、  
十分注意します。

16

● 異物の映り込みはいけない

ボタン、シップ、カイロはもちろん、衣類のプリント  
も写ってしまうことを説明。脱衣の協力は特に気  
を遣います。

女性では、腰椎撮影の際、  
「ブラジャーは胸だから関係ないでしょ！」  
未だに納得してくれません。

膝撮影では、  
「まくれば平気でしょ！」  
まくると余計シワが写りこみます。

17

● ポジショニングの重要性

腰椎側弯症のある患者さまからいつもこんな  
質問を受けています。右側弯がありますが、  
「私は左の腰が痛いのに、どうして右を下にして  
撮影するのか？」

患者さまの意見を取り入れてあげたいのが心情  
ですが、正確な側面像を撮影するために  
查曲している方を下にして撮影することを説明。

口頭での説明は撮影拒否など大問題に発展  
する危険性があります。

18

● ポジショニングの重要性

ポスターを用いて、最適なポジショニング、読影  
の妨げになる異物除去の必要性を説明。  
やはり、画像で説明するのが一番です。



19

● 再現性、被ばく低減措置など

患者さまも被ばく低減対策、感染症対策などには  
神経質です。いい意味で「わざわざ」説明。



● フィルタ挿入  
わざと  
見せながら  
装着します。

実施していると  
いう  
印象を  
与える！

指用はディスボ  
捨てるところを見せる



20

● ポジショニングの重要性

・模型も効果的  
胸部正面撮影でのポジショニング、スカプラYの  
説明に肩甲骨模型を使用。



21

● ポジショニングの重要性

・ぬいぐるみの利用  
頸椎斜位撮影など、技師の説明ではうまく定まら  
ない時は、ぬいぐるみなどを置いて目線、姿勢を  
一定にしています。(わざわざ)



22

### ● 撮影像の説明、再撮影の対応

FPDの導入で、患者さまへの説明も素早くできるようになりました。  
再撮影の際にはその具体的な説明。謝罪を！

撮影装置にNDD線量値が表示されるので、その値も説明に利用。



23

### ● 追加撮影、CTの必要性の確認

担当医に連絡し、CT撮影を追加するかを確認。患者さまにもその場で待機させて説明。結核など重大な感染症が疑われる場合は院内感染対策委員会への連絡、臨床検査室と合同で院内に周知。

PACS導入により、今まで以上に医師やスタッフとの連携が密となりました。



24

### ● 追加撮影 (患者さまからの要求の対応)

悪天候時には転倒した患者さまが多く来院しますが、医師からのオーダー以外に、撮影室内で他の部位も撮影してもらいたいと要求されることがあります。その際は、担当医に相談し患者さまの同意の上、追加撮影しております。

(新たな骨折などが見つかる場合が多々あります。)



25

### 説明の実際

● リウマチ科など、撮影時間のかかる患者さまには、順番が後になったことや、検査時間が長くなったことへの謝罪を忘れずに。



26

### 説明の実際

#### ● 読影補助

外科系・救急撮影では、ほぼ全例で技師が外来で読影補助をしています。傷害事件などでは、解剖図を用いて骨名などを医師、警察署員、救急隊員と同伴で説明。



27

### ヒヤリハット対策

● ルーチンとしているポジショニングでは苦痛を訴える患者さまもおります。

ポジショニングなどで、「痛い！」と苦痛を与えてしまった場合、医療安全委員会にヒヤリハットレポートを提出し、不快感を与えない撮影法を考える必要があります。

その一例を紹介します。

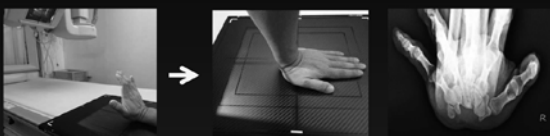
28

### 負担の少ない撮影法への改善

#### ● (例) 手根管撮影

～ヒヤリハットの経験から～

通常、手を反らせて撮影しますが、このポジショニングに苦痛を訴える患者さまが多く、手側でなく前腕側から入射するように改善。整形外科医からも画像上問題ないとのことで継続しております。



29

医療安全委員会の発足により、患者さまが楽に検査できる環境作りが必須となりました。

基本となる撮影法は重要ですが、診断上問題がなければ患者さまが楽に撮影できるポジショニングを考慮し一般撮影業務に当たっております。

30

## 説明の実際

### ② X線CT検査

- ・脱衣、アクセサリを外すことの説明
- ・検査時間、狭さ、回転音の説明(安心させる)
- ・管球を目で追わないよう、頭部CTでは目を閉じてもらいます

胸部CT検査では、頸部、上腹部の臓器の異常も同時に見つかるので、その際には担当医に連絡し、追加撮影の必要性も了承頂く。

31

## 説明の実際

### ● 被ばく線量の説明

CT装置のDLP値をそのまま説明に用いると値の多さに患者さまが恐怖心を持ってしまう。換算係数で変換した値を用いて説明しております。

患者さまは「数値の大小」で安全性を判断していることが多く、数値の説明には注意します。

32

## 説明の実際

### ● 造影CT検査について

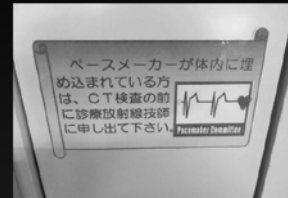
- ・造影剤使用による副作用、熱感などを伴うことを説明
- ・統一講習会を終了した技師が抜針を行うこともあると付け加える

技師が抜針することで、外来看護師の抜針を待つ時間が無くなり、患者さまも喜んでおります。事故、感染症などは今のところありません。

33

## 説明の実際

- 掲示物(ペースメーカーの方へ)  
オーバーセンシング対策の掲示物。  
胸部CTではそれを踏まえてプランニングします。  
体調不良となった患者さまはおりません。



34

## 説明の実際

- CT検査の線量説明  
DLPから実効線量への換算値で説明  
(EUR16262)

川上病院 CT室の数値

| 部位 | DLP         | mSv   |
|----|-------------|-------|
| 頭部 | 678.9mGy*cm | 1.56  |
| 胸部 | 456.8mGy*cm | 7.77  |
| 腹部 | 680.0mGy*cm | 10.20 |

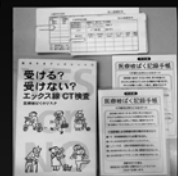
35

## 説明の実際

- X線CTに不安がある方の為にX線CT検査に関する丁寧な説明で患者さまから了承を得ております。

※ 被ばく管理手帳などの準備も整っていますが、手帳の希望者は今のところありません。

CTについて悪いイメージを持たせないよう丁寧な説明が大切です。



36

## 説明の実際

- 造影CT時  
CKD、副作用時のカード準備等。



37

## 説明の実際

- ③ 透視検査  
脱衣等は一般撮影に準じますが、直前に食事をしたか? 昨夜は右下で寝たか? などのヒアリングを念入りに行います。  
バリウムを付着させるため回転したり、ゲップをガマンさせるなど、患者さまとの協力をお願いしております。

注腸ではカテーテル挿入、バリウム注入、抜管まで技師が行うことなどの説明。

38

### 説明の実際

#### ③ 透視検査

限られた時間の中で、できるだけ検査内容を説明できるよう、模型を用いたりして説明。



39

### 説明の実際

#### ● 危険を伴う撮影の説明

落下事故例もあるので、危険のある撮影は近接撮影することもお伝えします。患者さまにもある程度イメージさせます。



実際は行いませんがこんな感じになることをイメージさせます。



40

### 最後に

実際の撮影現場で口頭での説明には限界があります。模型での説明を取り入れています。

撮影ポジショニングポスター画像を用いての視覚的な説明が簡便で効果的です。

「百聞は一見にしかず」  
これからも、できるだけ患者さまがイメージしやすい、誤解のない説明を心がけていきたいと思います。

41

## 討論会 わかりやすく伝えるために

第2地区理事

○木村友昭

栃木県診療放射線技師会 第2回第2地区卒後講座

2/24/2018



### 討論 ①： 移乗の説明

- ・オーダ: 胸部立位PA
- ・コメント: 無理なら座位
- ・移動手段: 車いす
- ・付き添い: 家族
- ・病名: RA (関節リウマチ)

どう説明する？



2

### 移乗説明 (閉ざされた質問)

- ・ 立てますか？
- ・ 移動できますか？
- ・ こちらで移動します。
- ・ 脇と脚を持ちます。

3

### 移乗説明 (閉ざされた質問)

- ・ 技師二人が患者の脇と脚を持ち上げて移乗しようとする。  
(移乗方法①二人で持ち上げる)



4

移乗説明  
(閉ざされた質問)

- 立てますか？
- 移動できますか？
- こちらで移動します。
- 脇と脚をもちます。

いいえ  
いいえ  
はい  
はい

閉ざされた質問  
伝える

伝わっているか？

移乗説明  
(開かれた質問)

- どこか痛いんですか？
- 脇と脚をもって移りたいのですが、いかがでしょう？
- なるほど
- 脇をもって持ち上げると肩が痛いんですね。

実は肩が痛いです  
脇をもって持ち上げると肩が痛い  
聴く  
繰り返し・共感

移乗説明  
(開かれた質問)

- いつもどのように移っていますか？
- 一人が脇を支えて、一人が腰を支えて移りたいと思いますが、いかがでしょうか？

できれば椅子に移った方がきれいに撮れます。  
できなければ車いすのままで撮ります。

何が言いたいのか、よくわかった！

それならば移れると思います

わかりやすい  
理解

移乗説明  
(開かれた質問)

- 移乗

楽に移れました。ありがとうございます。

聴く  
繰り返し・共感  
わかりやすい

伝わる



討論 ② 更衣説明  
共感図

共感ポイント

「患者」の望んでいること 「自分」が伝えたいこと

共感図

できれば着替えたくない  
着替えは時間かかる  
めんどろ  
うまく断りたい  
X線撮影は正しくされたい  
待たずに早く撮影してほしい

「患者」の望んでいること 「自分」が伝えたいこと

共感図

できれば着替えたくない  
着替えは時間かかる  
めんどろ  
うまく断りたい  
X線撮影は正しくされたい  
待たずに早く撮影してほしい

できれば着替えてほしい  
着替えは時間かかる  
検査室では着替えてほしくない  
更衣室で着替えてほしい  
X線撮影は正しくしたい  
検査室内の時間を短縮したい  
全体の待ち時間を短縮したい

「患者」の望んでいること 「自分」が伝えたいこと

共感図

できれば着替えたくない  
着替えは時間かかる  
めんどろ  
うまく断りたい  
X線撮影は正しくされたい  
待たずに早く撮影してほしい

できれば着替えてほしい  
着替えは時間かかる  
検査室では着替えてほしくない  
更衣室で着替えてほしい  
X線撮影は正しくしたい  
検査室内の時間を短縮したい  
全体の待ち時間を短縮したい

事前に着替えて、X線撮影を早く正しく、行う

「患者」の望んでいること 「自分」が伝えたいこと

### 更衣の説明 提案例

X線撮影を正しくキレイに行うために、皆さまに着替えを案内させていただきます。

事前に着替えることで早く順番がきます。

いかがでしょうか？

### 共感図のポイント

- 相手と自分の気持ちを想像して書き込む
- どう言えばその気持ちが伝わるか、もう少し考える
- 大切なのは、相手のことを考えるのではなく、相手の立場で考えること

### テーマ

「地域医療」を進め、  
「地域ブランド」をつくろう  
～ それ伝わっているか？ ～

伝わって  
いるか？



15



ちゃんと「伝わる」  
みんな笑顔に！

16

## 第34回日本診療放射線技師学術大会に参加して

獨協医科大学病院

和知大志

瀬崎英典

木村友昭

平成30年9月21日～23日の3日間、山口県下関市の海峡メッセ下関と下関市生涯学習プラザにおいて開催された第34回日本診療放射線技師学術大会に参加してきました。羽田空港より福岡に向かい、電車で下関市へ向かいました。下関市は海に近いことから新鮮な海の幸が頂けて、とても美味しかったです。また、景色がよく素晴らしいところでした。

学会では、当院からは5演題の発表と1題のシンポジウム発表を行い、また1名が日本診療放射線技師会より永年勤続表彰（30年）を受賞しました。全国大会での発表ということで緊張しました。新しい装置の使用報告を聞き勉強になり、また当院とは異なる冠動脈造影CTの撮影手法を用いた検討に興味をもち、当院でも実施可能か検討しようと思いました。特別講演1の「ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」を聴いて旭酒造会長の山田錦にかけ、強い思いを知りました。また昨年7月の西日本豪雨での、酒造の被害についても写真付きで紹介があり、当時のことを思い出しました。被害を受けた後も会長を中心として、色々なアイデアを実行し、乗り越えてきたことも知り感銘を受けました。

山口県下関はとても充実した学会となりました。またいつかこの地を訪れたいと思います。



学会会場前にて



巖流島からみた学会会場



巖流島にて 宮本武蔵と佐々木小次郎



唐戸市場から



## 第94回 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会定時社員総会議事録

日 時：平成30年5月26日(土) 16時40分

場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱ〈下都賀郡壬生町小林880〉

総会員数：485名（平成30年3月31日現在）

出席会員数：327名（内訳：本人出席27名、委任状出席256名、書面表決による出席44名）

## 開会の経過

定刻に至り、業務執行理事福田敏幸 開会を宣する。

会長小黑清より開会挨拶の後、勤続35年および20年功労表彰がおこなわれ、35年功労者6名と20年功労者11名が表彰された。

また、事務職員として長期にわたり勤務され、会務に尽力されてきた矢野房江様に対し感謝状を贈呈した。

**総会運営委員長：三原健二** 総会運営委員会より報告する。本日、平成30年5月26日(土)16時00分現在での一般社団法人栃木県診療放射線技師会の正会員数は485名である。本日の会場出席者数27名。委任状による出席者数256名。書面表決による出席者数44名である。したがって有効出席者数は327名となり、本会定款第18条「社員総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。」の条文を満たしており、本日の総会は有効に成立する。

続いて議場に、議長、議事録作成人並びに議事録署名人の選出方法を諮ったところ、執行部一任となり、満場一致をもって、議長に理事木村和弘、議事録作成人に業務執行理事牧島正道、議事録署名人に代表理事小黑清、業務執行理事柳沢三二郎が選任された。

議長木村和弘より挨拶の後、議案の審議に入った。

**議長：木村和弘** 第1号議案平成29年度事業報告、第2号議案平成29年度会計決算報告および第3号議案平成29年度監査報告は関連する議案であるため、第1号議案、第2号議案、第3号議案は一括して審議することとする。

## 第1号議案

**議長：木村和弘** 第1号議案平成29年度事業報告を執行部より報告願いたい。

**会長：小黑 清** 議長の求めにより平成29年度

会務経過の総括を資料に基づき報告する。

平成29年度は毎年の主な事業を見直ししながら継続し行うとともに新たな事業も開始した。平成27年度から始まった業務拡大に伴う統一講習会は平成32年の春までに会員の受講100%を目指して平成29年度も3回開催予定であるが、過去に7回開催したが現在57%の受講率である。医療安全の確保の観点から受講することが望ましいことを啓蒙してきたつもりだが会員への浸透は充分でない。

また、県内で会員が勤務する医療機関の管理職の方々を対象にした技師長サミットを開催した。県内に於いて技師長、副技師長の方々一堂に会することは稀であり施設間の交流の場として一助になったと思われる。平成29年度からの新事業として栃木県内に於ける防護の最適化のための診断参考レベルDRLの調査、また一般撮影の撮影条件に関するアンケート調査を行った。この集計結果はホームページに掲載し、さらに本会の学術研究発表会で発表したことで本県の医療被曝の実態把握と共に防護の最適化を進めることが出来た。

事業実施の詳細については、総会資料を参照いただきたい。

## 第2号議案

**議長：木村和弘** 続いて、第2号議案平成29年度会計決算報告を執行部よりご説明いただきたい。

**業務執行理事：金田幹雄** 議長の求めにより資料に基づき報告する。小黑会長に代わり私から平成29年度会計決算報告させていただく。決算書は事前に配布してあるので、概略のみ報告させていただくこととする。

まず、正味財産増減計算書について説明する。

平成29年度の経常収益は、6,157,140円で、対前年度比375,590円の収益増である。

経常費用は5,898,848円で対前年度比64,858円の支出増で、経常収益から経常費用を引いた、当期経常増減額は258,292円の増となり、正味財産合計は2,823,327円となる。

なお、科目ごとの詳細については、正味財産増減計算書と内訳書の当年度と前年度の増減を見て、状

況を確認していただきたい。

貸借対照表内訳書より流動資産合計 2,705,887 円が次期繰越流動資産となる。

以上、報告する。

### 第3号議案

議長：木村和弘 続いて第3号議案平成29年度監査報告について監事より報告願いたい。

監事：茂木常男 議長の求めにより監査結果を報告する。4月7日土曜日、本会事務所において会長、副会長、常務理事、財務担当理事、総務担当理事および事務職員立ち会いのもと、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査を行ったので、一般社団法人の規程に基づき、本報告書を作成し、以下の通り報告する。

監査の方法及びその内容については、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査した。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査した。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査した。その結果、事業報告等の監査結果について、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当技師会の状況を正しく示しているものと認める。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果について、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当技師会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認める。

議長：木村和弘 第1号議案、第2号議案、第3号議案の報告について質問等があれば承る。

議長は、第1号議案について採決をおこなった。

その結果、書面議決権行使者44名は全員賛成であり、会場出席者による採決は、満場一致により第1号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第2号議案について採決をおこなった。書面議決権行使者44名は全員賛成であり、会場出席者による採決は満場一致により、第2号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第3号議案について採決をおこなった。書面議決権行使者44名全員賛成であり、会場出席者による採決は満場一致により、第3号議案が原案どおり可決承認され、ここで、第1号、第2号、第3号のすべてが原案どおり可決承認されたことを告げた。

### 第4号議案

議長：木村和弘 第4号議案会費等に関する規則の改定について執行部よりご説明いただきたい。

会長：小黑 清 議長の求めにより報告する。栃木県診療放射線技師会諸規程に「日本診療放射線技師会会費納入規程第9条に該当する者で、35年以上継続して会員であった者は翌年度以降のこの法人の会費も前項の規則に拘わらず終身にわたって免除されるものとする」また、附則として「平成30年5月26日から改正施行し、同年4月1日から適用する」を追加条文とする。

以上を審議いただきたい。

議長：木村和弘 第4号議案について質問等があれば承る。

議長は、第4号議案について採決をおこなった。

その結果、書面議決権行使者44名は全員賛成であり、会場出席者による採決は、満場一致により第4号議案が可決承認された。

### 第5号議案

議長：木村和弘 この議案は報告事項であるから、あらかじめ総会資料を見て頂いていることを前提に、採決は行わないこととするが、執行部から追加事項等があれば報告いただきたい。

会長：小黑 清 議長の求めにより報告する。平成30年度予算案については、既に理事会において承認をいただいている。

議長は、平成30年度事業計画及び予算書について質問等を議場に諮ったが、特に無かった。

議長：木村和弘 先ほど述べたとおり、この議案は報告事項であるため、採決はせずに次の議案に移る。

### 第6号議案

議長：木村和弘 続いて第5号議案のその他についてであるが執行部から何かあるか。

議長は、その他について議場に諮ったところ、執行部から特になし。

業務執行理事：柳沢三二郎 閉会を宣し、17時05分散会した。

議長は、本日の第94回定時社員総会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。



## 平成29年度 第1回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年4月24日(月) 午後6時30分 場 所：獨協医科大学病院 2階放射線部前 会議室  
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、  
寺島洋一、齊藤 稔、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、市川和秀、斎藤早苗  
(監事) 茂木常男、神山辰彦  
欠席者：(理事) 樋口清孝、佐藤祐二

### 開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事斎藤早苗が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事神山辰彦が選任された。

### 第1号議案 平成28年度第4回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成28年度第4回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成28年度第4回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 会長報告

議長：小黒 清 3月8日国際医療福祉大学学位記伝達式に来賓として出席し、祝辞を述べた。

### 第2号議案 平成28年度事業経過報告について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

議長は平成28年度事業報告の承認について諮ったところ、2箇所訂正し、満場一致で承認された。

### 第3号議案 平成28年度会計決算報告について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

貸借対照表内訳表の固定資産にある電話加入権については、固定資産とするかどうか今後検討することとする。

議長は平成28年度会計決算報告の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第4号議案 平成28年度監査報告

監事：茂木常男 議長の求めにより、4月8日16時より事務所に問題なく行われたことを報告。資料は次回までに提出する。

議長は平成28年度監査報告の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第5号議案 第93回定時社員総会開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日時：平成29年5月27日(土)

受付16時30分 開会16時45分

場所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂

議長：理事佐藤祐二(欠席のため後日確認)

総会運営委員会報告：池田理事(第3地区)

議長：小黒 清 平成28年度会費未納者は選挙権がないので、速やかに納入するよう該当者に通知する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第6号議案 第1回卒後教育講座開催について**

業務執行理事：吉成亀蔵 議長小黑清の求めにより、資料に基づき報告する。

日時：平成29年5月27日(土)

受付14時 開会14時30分

場所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂

講師：国際医療福祉大学 樋口先生に依頼

内容：画像診断学の基礎

議長：小黑 清 各施設に送付する資料を一部訂正し、発送する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第7号議案 フレッシュアップセミナーの開催について**

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

日時：平成29年5月28日(日)

午前9時から午後4時

場所：獨協医科大学病院 教育医療棟6階

シミュレーション講義室I

内容：エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖など

講師：福田敏幸（済生会宇都宮病院）

金田幹雄（獨協医科大学病院）

吉成亀蔵（那須赤十字病院）

寺島洋一（自治医科大学病院）

小黑 清（獨協医科大学病院）

以上5名にて行う。

参加費：無料（昼食付き）

業務執行理事：吉成亀蔵 今年度より、胸部模型製作を実施する。予算は資料参照。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第8号議案 技師長サミットについて**

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

日時：平成29年6月10日(土)16時から

場所：ホテルニューイタヤ

内容1：各施設での現状

（足利赤十字病院、那須赤十字病院）

内容2：企業による人材育成

（日本メジフィジックス、GEヘルスケア・ジャパン）

研修会終了後、情報交換会を企画している。賛助会員も参加予定。

議長：小黑 清 資料は事務局から各施設に発送する。

理事はサポートとしてできるだけ出席してほしい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第9号議案 第5回業務拡大に伴う統一講習会について**

業務執行理事：金田幹雄 資料に基づき報告する。

平成29年7月16日(日)、17日(月)（募集開始5月10日頃～）

プログラムに変更箇所があるので、確認する。

スタッフに業務執行理事吉成亀蔵を追加する。

議長：小黑 清 今年度は3回開催予定。スタッフが重複してやっているの、次回からは順番にやるよう検討する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第10号議案 女性サミット担当者について**

業務執行理事：柳沢三二郎 議長小黑清の求めにより、報告する。

自治医科大学附属病院 塚田文世さんを選出。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**第11号議案 各部・各地区報告について**

(1) 部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静、新入会希望者が1名。

議長は入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成29年度事業計画書校正版を理事メールにて送付する。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

議長：小黒 清 各地区及び研究会の経費について、技師会活動を行った場合は必ず経費と旅費の請求をお願いする。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 第6、7号議案にて報告済み。

(広報部)

理事：樋口清孝 欠席のため、業務執行理事福田敏幸、議長の求めにより報告する。

今回の「あすたーと」に総会資料は掲載しない。後日発送する予定。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 第8号議案にて報告済み。

(地域医療対策部)

理事：市川和秀 特になし。

(JART 女性サミット)

理事：斎藤早苗 次回理事は退任するが平成29年度の女性サミット委員は続ける。

(各地区理事活動報告)

第1地区 業務執行理事：吉成亀蔵 平成29年度の地区卒後教育講座は新理事が検討する。

第2地区 理事：斎藤早苗 平成29年度の地区卒後教育講座は新理事が検討する。

第3地区 理事：池田卓義 平成29年度の地区卒後教育講座は新理事が検討する。

第4地区 理事：三原健二 平成29年度の地区卒後教育講座は新理事が検討する。

第5地区 理事：斎藤 稔 平成29年度の地区卒後教育講座は新理事が検討する。

議長：小黒 清 新理事になり次第、年2回各地区の卒後教育講座の予定を早急に立てる。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第12号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 議長の求めにより、報告する。

DRLを県内の取りまとめを企画部の三原健二理事と検討する。

業務執行理事：福田敏幸 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

栃木県公衆衛生大会知事表彰候補者、公衆衛生大会大会長表彰該当者を推薦する。

業務執行理事：牧島正道 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：須藤昌彦 4月8日第1回業務執行理事会議事録の承認を求める。

業務執行理事：金田幹雄 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：吉成亀蔵 上記担当部署にて報告済み。

議長：小黒 清 女性サミット担当者の変更にあたり、今後理事会での活動報告は、担当理事である業務執行理事柳沢三二郎が報告する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第13号議案 その他（報告事項と確認事項等）

議長：小黒 清 5月27日新理事に必要な書類等はメールにて連絡。欠席した理事については後日提出する。

議長：小黒 清 長野で行われる関東甲信越診療放射線技師学術大会で、MRIの座長はMRI研究会で、一般撮影の座長は獨協医科大学病院から候補者を挙げる。

議長：小黒 清 6月2日に開催される日本診療放射線技師会創立70周年記念式典と総会に、会長小黒清、業務執行理事吉成亀蔵、業務執行理事牧島正道が参加する。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成29年度第1回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後7時55分散会した。



## 平成29年度 第2回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年 5 月27日(土) 午後 5 時20分 場 所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂  
 出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、  
 樋口清孝、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、高橋伸彰、  
 大橋俊之、木村和弘  
 (監事) 茂木常男、荻原二三雄  
 欠席者：(理事) 加藤恵二

## 開会の経過

本理事会は理事全員の同意があったので、召集の  
 手続きを経ることなく開催する。

理事柳沢三二郎 開会を宣する。

代表理事等選定の臨時理事会の議長は、出席理事  
 の互選により選出することになっており、互選の結  
 果、理事小黒清が議長を務める。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たし  
 たので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人に理  
 事牧島正道、議事録署名人に監事茂木常男、荻原  
 二三雄を指名する。

## 第1号議案 平成29年度役員人事について

議長：小黒 清 先程の第93回総会において、  
 平成29年度・30年度の理事17名、監事2名が選  
 任された。理事、監事の任期は、本日5月27日よ  
 り平成31年度の定時総会までの2年間となる。

ただ今より、理事17名の中から、代表理事1名  
 及び業務執行理事6名(副会長2名、常務理事、総  
 務部長、財務部長、学術部長)を互選により選任する。

互選の結果、以下のとおり代表理事並びに業務執  
 行理事が選任され、それぞれ本人が就任を承諾した。

|        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 代表理事   | (会 長)  | 小黒 清  |
| 業務執行理事 | (副会長)  | 柳沢三二郎 |
|        | (副会長)  | 福田敏幸  |
|        | (常務理事) | 牧島正道  |
|        | (総務部長) | 須藤昌彦  |
|        | (財務部長) | 金田幹雄  |
|        | (学術部長) | 吉成亀蔵  |

議長：小黒 清 選出された業務執行理事並びに  
 その他の理事の皆様には、会務執行につきご尽力い  
 ただきたい。この後に再開する第93回総会にて選  
 任結果を報告する。

## 第2号議案 その他

議長はその他について諮ったところ、特になかつ  
 た。

議長は本日の平成29年度第2回理事会における  
 議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降  
 壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後5時40分散  
 会した。



## 平成29年度 第3回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年 5 月27日(土) 午後 5 時50分 場 所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂  
 出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、  
 樋口清孝、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、高橋伸彰、  
 大橋俊之、木村和弘  
 (監事) 茂木常男、荻原二三雄  
 欠席者：(理事) 加藤恵二

## 開会の経過

定刻に至り議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は、法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選出方法を諮ったところ、満場一致をもって理事牧島正道が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事萩原二三雄が選任された。

## 第1号議案 平成29年度役員人事について

議長：小黒 清 先程の第93回総会において、平成29年度・30年度の理事17名、監事2名が選任された。理事、監事の任期は、本日5月27日より平成31年度の定時総会までの2年間となる。

代表理事 (会長) 小黒 清  
業務執行理事 (副会長) 柳沢三二郎  
(副会長) 福田敏幸  
(常務理事) 牧島正道  
(総務部長) 須藤昌彦  
(財務部長) 金田幹雄  
(学術部長) 吉成亀蔵

議長：小黒 清 選出された業務執行理事並びにその他の理事の皆様には、会務執行につきご尽力いただきたい。

## 第2号議案 地区役員の選任及び地区卒後教育講座について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。7月末までに各地区理事は2回の開催日を決定し常務理事に報告。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第3号議案 技師長サミットの開催について

議長：小黒 清 参加進捗状況を報告し、開催スタッフの決定、役割分担を確認する。

日時：平成29年6月10日(土) 15:00～

場所：ホテルニューイタヤ

開催スタッフ：受付 牧島(常務)

須藤(総務)

司会 三原(企画)

情報交換会 司会 柏崎(組織)

池田、佐藤は欠席

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第4号議案 第6回業務拡大に伴う統一講習会について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。

当日の実習指導補助者を4名ほど決定していただきたい。

議長：小黒 清 可能であれば理事を順番で実習指導補助に携わっていただきたい。

日時：平成29年9月17日(日)、18日(月)

場所：獨協医科大学 120番教室

実習指導者：須田 富仁、内田 新也、

芦崎 道太、小林 和宗

実習指導補助者：木村(獨協)、高橋、牧島、

柳沢、金田

会場責任者：小黒

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第5号議案 第4回理事会の開催について

議長：小黒 清 次回理事会の予定を確認する。

日時：平成29年7月20日(木) 18:30～

場所：獨協医科大学病院 放射線部前会議室

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第6号議案 その他

議長はその他について諮ったところ特になく、本日の議案がすべて承認されたことを確認した。

議長は平成29年度第3回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後6時20分散会した。



## 平成29年度 第4回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年7月20日(木) 午後6時30分 場 所：獨協医科大学病院 2階放射線部前 会議室  
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、  
樋口清孝、須藤昌彦、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、高橋伸彰、木村和弘、加藤恵二  
(監事) 茂木常男、荻原二三雄  
欠席者：(理事) 大橋俊之、池田卓義

### 開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事樋口清孝が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事荻原二三雄が選任された。

### 第1号議案 平成29年度第1回、第3回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成29年度第1回および第3回理事会議事録の承認を求める。

監事：茂木常男 第2回理事会議事録の承認について確認を求める。

議長：小黒 清 第2回理事会は臨時理事会として開催され、議事録の内容は既に承認されたものと認識している。各理事には理事メールまたはOne Drive で確認できるよう対応する。

議長は平成29年度第1回および第3回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 理事会資料に基づき会長報告する。

その他、7月19日(水)栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会へ参加した。

### 第2号議案 第1回卒後教育講座開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。

今年度の卒後教育講座は引き続き「画像診断学の基礎」ということで、国際医療福祉大学 樋口清孝先生に依頼する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第3号議案 フレッシューズセミナー開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第4号議案 技師長サミット開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第5号議案 第5回および第6回業務拡大に伴う統一講習会について

議長：小黒 清 第5回業務拡大に伴う統一講習会について、理事会資料に基づき報告する。

受講申込者数43名、実際の受講者数41名であった。

議長：小黒 清 第6回業務拡大に伴う統一講習会については、理事会資料の通り開催する。

議長：小黒 清 第7回業務拡大に伴う統一講習会については、実習指導補助者として副会長福田敏幸、業務執行理事金田幹雄、理事木村友昭、理事三原健二の4名、会場責任者として業務執行理事吉成亀蔵で開催する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第6号議案 第33回学術大会(函館)参加について

議長：小黒 清 大会長より事前参加登録数が少ないとの報告があった。各理事は県内会員の参加促進に努力する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第7号議案 基礎技術講習(X線CT検査)について

議長：小黒 清 開催スタッフとして会長小黒清、

業務執行理事吉成亀蔵の他、業務執行理事金田幹雄、理事大橋俊之の2名を加える。

**業務執行理事：吉成亀蔵** 受講受付期間は8月1日(火)から10月15日(日)までである。

**議長：小黒 清** 参加者を増やすためにも今後は他団体の単位認定講習会として申請することも検討する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第8号議案 第2回卒後教育講座について

**議長：小黒 清** 講座内容は「画像診断学の基礎」として60分、メーカー講演として30分を2演題で検討する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### ・追加連絡事項

**議長：小黒 清** 6月24日(土)、第1回日本診療放射線技師会北関東地域拡大会長・教育委員合同会議が長野県で開催され、会長小黒清、副会長柳沢三二郎、副会長福田敏幸、業務執行理事吉成亀蔵が出席した。そこで、次期地域理事は栃木県から選出するよう依頼があった。当会の体制にも関わることであり、今後に向けて準備を進める。

**副会長：柳沢三二郎** 10月8日(日)、9日(月)に茨城県古河市で業務拡大に伴う統一講習会が開催される。栃木県開催の日程で都合がつかない場合は、他県開催の講習会へ参加してもよい。理事メールで配信するので、積極的に講習会を受講するよう各理事から勧めて欲しい。

**議長：小黒 清** 9月14日(木)から16日(土)に日本磁気共鳴医学会大会が宇都宮市で開催される。積極的に参加を勧めて欲しい。

#### 第9号議案 各部・各地区報告

◎部会報告  
(事務局)

**業務執行理事：牧島正道** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静、新入会希望者が24名(配付資料にある施設名の誤字を修正)。

議長は入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

**理事：樋口清孝** 配付資料にある平成29年度、30年度役員一覧は次号あすたーに掲載する。

**理事：樋口清孝** 配付資料にある平成29年度各地区卒後教育講座開催予定について、第1地区は、第1回を10月20日(金)、第2回を2月16日(金)にいずれも国際医療福祉大学で開催する予定である。

**業務執行理事：金田幹雄** 理事会議事録の作成についておよび理事間のデータの共有に関して、配付資料の通り各理事へ依頼する。

(総務部)

**業務執行理事：須藤昌彦** 議長の求めにより、配付した第2回業務執行理事会議事録および平成29年度スケジュール表を確認いただきたい。

(財務部)

**業務執行理事：金田幹雄** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

**監事：茂木常男** 第2回技師長サミット会計報告の参加費収入で、1人4,000円のところ1名のみ5,000円となっていることについて説明を求める。

**業務執行理事：金田幹雄** 1,000円分は寄付であったと認識している。参加費収入としての記載は4,000円に修正し、1,000円は寄付金として記載する。

(学術部)

**業務執行理事：吉成亀蔵** 第13回学術研究発表会の演題募集は例年通り9月頃に募集要項を発送する。演者の発表データは発表会当日に受付で預かり、本会で準備したパソコンで投影する。

(広報部)

**理事：樋口清孝** 本日があすたーとの原稿締め切りであるが、一部の原稿は未着である。週明けまでをお願いする。会誌の発行は1月9日(火)、原稿締め切りは12月15日(金)とする。各地区卒後教育講座の内容など会誌に掲載できる学術記事があれば原稿執筆をお願いしたい。

(組織部)

**理事：柏崎克彦** 特になし

**議長：小黒 清** 来年度よりホームページの管理は獨協医科大学病院に所属する役員3名で行えるよう準備している。

(企画部)

**理事：三原健二** 「一般撮影領域における線量実態調査について」は第11号議案で審議する。

(地域医療対策部)

**理事：加藤恵二** 現在、前任の市川氏から業務引き継ぎの途中である。

(JART 女性サミット)

副会長：柳沢三二郎 特になし。報告は女性サミット開催後に行うため、今後は理事会での部会報告から削除する。

(各地区理事活動報告)

第1地区

理事：樋口清孝 卒後教育講座の日程は配付資料の通りである。内容は、幹事会を開催して検討する。

第2地区

理事：木村友昭 卒後教育講座の日程は配付資料の通りである。内容は、幹事会を開催して検討する。

第3地区

理事：佐藤 宏 卒後教育講座の日程、内容は配付資料の通りである。

第4地区

理事：三原健二 卒後教育講座の日程および会場は配付資料の通りである。

第5地区

理事：木村和弘 卒後教育講座の日程は配付資料の通りである。第1回の会場はとちぎメディカルセンターしもつがに決定した。

議長：小黒 清 各地区卒後教区講座の日程（予定）は次回あすたーとで広報する。

#### 第10号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 「一般撮影領域における線量実態調査について」は第11号議案で審議する。

業務執行理事：福田敏幸 第57回栃木県公衆衛生大会において、知事表彰 高野美登志氏、山田隆幸氏、中沢武夫氏、関口智哉氏の以上4名、大会長表彰 吉成亀蔵氏、増井宏美氏、坂元一吉氏、簾谷和男氏、澤井宣元氏、増渕二郎氏の以上6名の受賞が決定した。

日本公衆衛生協会会長表彰、厚生労働大臣表彰、褒章、叙勲への該当者がいれば推薦して欲しいと県から依頼があった。本会としては前会長である神山辰彦氏を推薦する方向で検討したい。そのためにも、各種表彰推薦内規を策定する必要があり、次回理事会で審議を行う。

業務執行理事：牧島正道 上記担当部署にて報告済み

業務執行理事：須藤昌彦 上記担当部署にて報告済み

業務執行理事：金田幹雄 上記担当部署にて報告済み

業務執行理事：吉成亀蔵 上記担当部署にて報告済み

#### 第11号議案 その他（報告事項と確認事項等）

○一般撮影領域における線量実態調査について

業務執行理事：柳沢三二郎 本会の企画として、一般撮影領域における線量実態調査を行いたい。各施設への依頼内容は配付資料の通り。なお、依頼文の依頼者に会長名を追記する。

本調査においては倫理的に問題ないことを理事会で確認した。

議長：小黒 清 今後は各地区から委員を選出し、一般撮影領域以外についても継続的に進めたい。

業務執行理事：柳沢三二郎 今回の調査結果は9月9日(土)に集計作業を行う予定である。作業員としては業務執行理事柳沢三二郎、理事三原健二の他、業務執行理事吉成亀蔵、理事佐藤宏、理事木村和弘に依頼する。

調査対象施設は、技師長サミットの案内を送付している全施設とする。なお、回答用紙は返信用封筒を同封し回収する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

○名誉会員への推薦について

監事：茂木常男 前会長である神山辰彦氏を名誉会員に推薦することを提案する。

議長：小黒 清 本人に確認をとり、次回理事会で審議する。その決定を受け、次回定時社員総会の議題として採決をとる。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成29年度第4回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後8時20分散会した。



## 平成29年度 第5回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年11月11日(土) 17時30分

場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室 I

出席者：(理事) 小黑 清、柳沢三二郎、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、樋口清孝、  
須藤昌彦、池田卓義、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、大橋俊之、木村和弘、加藤恵二  
(監事) 茂木常男、荻原二三雄

欠席者：(理事) 福田敏幸、高橋伸彰

### 開会の経過

定刻に至り、会長小黑清 開会を宣する。

議長：小黑 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事木村友昭が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黑清、監事茂木常男、監事荻原二三雄が選任された。

### 第1号議案 平成29年度第4回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黑 清 平成29年度第4回理事会議事録の承認を求める。

監事：茂木常男 第10号議案と第11号議案の元会長を前会長と修正願いたい。

議長は平成29年度第4回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黑 清 理事会資料に基づき会長報告する。

平成29年10月3日栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会へ参加した。がん検診受診率の向上およびがん検診の精度管理の取り組みの推進を行う。

平成29年9月23日(土)函館市市民会館大会議室で行われた平成29年度第1回全国地域連絡協議会(全国会長会議)より、9議題について報告があった。

内容は、柔道整復師法一部改正の反対決議、地域理事の出張および交通・宿泊内規の改正、都道府県の養成校4年制大学設立推進、災害時支援リーダー研修会の開催、永年勤続表彰規程の確認、医療被ばく低減施設認定の増加促進、アンケート調査に対するお礼、統一講習会開催進捗状況報告、第33回日本診療放射線技師学術大会参加状況報告および会長の江間賞受賞についてであった。

### 第2号議案 基礎技術講習(X線CT検査)開催報告

議長：小黑 清 理事会資料に基づき報告する。  
参加人数は63名であった。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第3号議案 第2回卒後教育講座開催報告

議長：小黑 清 理事会資料に基づき報告する。  
参加人数は66名であった。

会員57名、非会員1名、新入職員2名、国際医療福祉大学学生6名。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第4号議案 第6回、第7回業務拡大に伴う統一講習会について

議長：小黑 清 第6回、第7回業務拡大に伴う統一講習会について、理事会資料に基づき報告する。  
第6回は、平成29年9月17、18日に開催し、受講者数25名、合格者数25名であった。

議長：小黑 清 第7回業務拡大に伴う統一講習会については、理事会資料の通り。

業務執行理事：吉成亀蔵 都合により開催当日、参加できなくなった。

小黑清が、代わりに会場責任者を務めることとする。

業務執行理事：金田幹雄 現在、申込者数は10名であり、申込期間は10/24～12/17である。

申込者数が少ない場合は、実習指導者やスタッフの人数を減らす場合もある。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

### 第5号議案 第13回学術研究発表会と第3回卒後教育講座について

**業務執行理事：吉成亀蔵** 議長の求めにより、第13回学術研究発表会と第3回卒後教育講座について、理事会資料に基づき報告する。

演題申し込みは今のところない。

ランチョンセミナーについては、GEにマンモ関係の話を、日立には自社製品について講演してもらう予定である。

お弁当は昨年同様120食用意し、ランチョンセミナー参加券を100枚配布する。

ランチョンセミナー会場は145番教室になる。

第3回卒後教育講座については、国際医療福祉大学 樋口清孝先生に、来年度も含め、引き続き読影の補助について講演を依頼し、了承された。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第6号議案 撮影線量実態調査中間報告

**業務執行理事：柳沢三二郎** 議長の求めにより撮影線量実態調査中間報告について、理事会資料に基づき報告する。

回答数は32施設であった。ろ過フィルター使用の重要性に気づいていないと感じた。各施設に寸評を付けて、お礼状を送った。3月の学術研究発表会で、実態調査報告として発表する。

来年度調査対象は血管造影とし、線量計を確保できれば、各地区1-2名ずつ選出して行う。また、得られたデータについては、全国学術研究発表会で報告を行っていききたい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第7号議案 各種表彰推薦内規について

**議長：小黒 清** 内規の案をOne Driveに入れておくので、各自目を通していただき、次回の理事会で再度議題として審議を行い、承認を得て内規とする。

#### 第8号議案 平成30年度の事業スケジュールについて

**議長：小黒 清** 理事会資料に基づき報告する。

6月の日本診療放射線技師会総会の日程が決まってから、技師長サミットの日程を調整する。

基礎技術講習(MR)の日程を再検討する。会長が講師陣と日程を調整し、メールにて報告する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第9号議案 各部・各地区報告

##### ◎部会報告

(事務局)

**業務執行理事：牧島正道** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静 新入会希望者20名。

賛助会員 キヤノン株式会社

東芝メディカルがキヤノンメディカルに変更になることから、キヤノンとの相違を会長が確認することとする。

入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

日本診療放射線技師学術大会にて発表を行った会員に、栃木県学術研究発表会での報告依頼の文書を発送する。

学術奨励賞は見開きの台紙に入れる。次回サンプルを用意する。

(総務部)

**業務執行理事：須藤昌彦** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

スケジュールを更新した。

(財務部)

**業務執行理事：金田幹雄** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入状況(11/10現在)

正会員 431名(88.1%)

賛助会員 12社(80.0%)

広告掲載募集

ドクターネットが契約した。

議長小黒 清から、卒後教育講座の際に飲物を用意することは出来ないか提案があり、今後は飲物を技師会で出すこととする。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(学術部)

**業務執行理事：吉成亀蔵** 議長の求めにより、報告する。

学術研究発表会演題登録は、個人単位で発表者が行うようにしてほしい。

国際医療福祉大学の学生は樋口理事を窓口とする。

消化管撮影研究会の開催を来年2月頃で検討している。

(広報部)

**理事：樋口清孝** 議長の求めにより、報告する。

会誌（109号）の発行予定は平成30年1月9日。  
原稿の締め切りを12月15日までにお願いしたい。  
学術的なものを掲載したいので、各地区で行った  
もので協力をお願いしたい。

議長小黒清より、学術奨励賞の内容を掲載すること  
を今後検討していきたいとの提案。

学術研究発表会抄録集の発行 平成30年2月15日。  
原稿の締め切りを平成30年1月末日でお願いし  
たい。

（組織部）

理事：柏崎克彦 特になし。

（企画部）

理事：三原健二 議長の求めにより、報告する。

先ほどの第6号議案 撮影線量実態調査中間報告  
に同じ。

（地域医療対策部）

理事：加藤恵二 議長の求めにより、資料に基づ  
き報告する。

9名に推薦者調書を作成した。

（各地区理事活動報告）

第1地区

理事：樋口清孝 議長の求めにより、卒後教育講  
座について報告する。

第1回卒後教育講座

開催日：平成29年10月20日

場 所：国際医療福祉大学

参加人数：会員24名 非会員2名

新入職員1名 学生4名 計31名

内 容：CTデュアルエネルギーによるPSIイメージング  
（GE）施設紹介～当院の疑問～（2施設）

第2回卒後教育講座

開催日：平成30年2月16日

場 所：国際医療福祉大学

内 容：患者接遇とマナー

個人被ばく管理と法令

第2地区

理事：木村友昭 議長の求めにより、卒後教育講  
座について報告する。

資料：栃木県診療放射線技師会卒後教育講座実績  
より、目標参加人数は出席率40%とした。

第1回卒後教育講座

開催日：平成29年10月14日

場 所：獨協医科大学病院

参加人数：会員35名（出席率34%）

地区目標：地区のつながりを強くし、気楽に相談した  
り、施設間での交流を行える環境を作る。

テーマ：「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつ  
くろう～地域と施設とメーカをつなごう～

内 容：会長あいさつ

役員紹介

第2地区紹介「第2地区どんなところ？」

施設紹介「その施設どんなところ？」

～HPには載っていない本音の話～（7施設）

メーカ発表（3社）

第2回卒後教育講座

開催日：平成30年2月24日

場 所：獨協医科大学病院

地区目標：「聴く力、伝える力」を各自が身につ  
けることで対話を促進し、コミュニ  
ケーション力を向上する。（仮）

内 容：放射線検査等に関する説明・相談について（仮）

第3地区

理事：佐藤 宏 議長の求めにより、卒後教育講  
座について報告する。

第1回卒後教育講座

開催日：平成29年11月8日

場 所：済生会宇都宮病院

参加人数：会員25名 非会員1名 学生6名

医師2名 計34名

内 容：「ガドリニウム造影剤プロハンスの安全性」

「大腸癌検診における大腸CT～読影支  
援技師、認定医制度に向けた取り組みを  
含めて～」

「AIは放射線科診断医を失業させるの  
か!？」

第2回卒後教育講座

開催日：平成30年2月

場 所：済生会宇都宮病院

内 容：緩和ケアを中心に活動している技師によ  
る患者と医療者のコミュニケーション回路  
について

第4地区

理事：三原健二 議長の求めにより、卒後教育講  
座について報告する。

第1回卒後教育講座

開催日：平成29年9月28日

場 所：足利赤十字病院

参加人数：会員31名

内 容：「東芝CT最新情報」

第2回卒後教育講座

開催日：平成30年2月28日

場 所：佐野厚生総合病院

第5地区

理事：木村和弘 議長の求めにより、卒後教育講

座について報告する。

第1回卒後教育講座

開催日：平成29年11月9日

場 所：とちぎメディカルセンターしもつが

参加人数：会員22名

内 容：「MRI高速撮像法について」

第2回卒後教育講座

開催日：平成30年2月8日

議長：小黑 清 栃木県診療放射線技師会卒後教育講座実績をもとに、みんなに卒後教育講座に集まっていたけるとよい。今年度も実績作成をお願いしたい。

#### 第10号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎

DRLsおよびHPの更新作業などの活動を行っている。

業務執行理事：牧島正道 部会報告に同じ。

業務執行理事：須藤昌彦 部会報告に同じ。

業務執行理事：金田幹雄 卒後教育講座の参加費は、非会員の新入職員は初年度12月いっぱいまで無料とし、1月からは3,000円を徴収する。

議長：小黑 清 事務局、総務はよく理解してくるようにお願いしたい。

業務執行理事：吉成亀蔵 部会報告に同じ。

#### 第11号議案 その他（報告事項と確認事項等）

○HPのリニューアルについて

理事：木村友昭 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

他県のHPを参考に新たなHPのデザインを作成した。

議長：小黑 清 平成30年4月1日更新を目指す。それ以降は、獨協医科大学病院のスタッフで更新作業を行っていききたい。

TOPページの画像は栃木県の風景などを募集して定期的に更新したい。

○診療報酬改定について

理事：大橋俊之 4月の診療報酬改定にあたり勉強会を技師会で行えないか。

議長：小黑 清 開催する方向で進めてほしい。

日程は、平成30年1月27日(土)または2月10日(土)あたりで検討したい。

理事会も同日に変更する。

会員勤務施設の技師長宛てに開催通知を送付することとする。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成29年度第5回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黑 清 閉会を宣し、19時40分散会した。



## 平成29年度 第6回 理事会 議事録(抄)

日 時：平成30年2月10日(土) 16時30分

場 所：獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰ

出席者：(理事) 小黑 清、柳沢三二郎、牧島正道、金田幹雄、須藤昌彦、柏崎克彦、樋口清孝、池田卓義、三原健二、加藤恵二、大橋俊之、木村和弘、佐藤 宏

(監事) 茂木常男

欠席者：(理事) 福田敏幸、吉成亀蔵、高橋伸彰、木村友昭

(監事) 荻原二三雄

#### 開会の経過

定刻に至り、議長小黑清 開会を宣する。

議長：小黑 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事佐藤宏が選任された。また、議事録署名人は、本会定款

第34条の規定により、会長小黑清、監事茂木常男が選任された。

#### 第1号議案 平成29年度第5回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黑 清 平成29年度第5回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成 29 年度第 5 回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

**議長：小黒 清** 理事会資料に基づき会長報告する。

栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会が 2 月 2 日に栃木県立がんセンターで開催予定だった会議が中止され、開催月が 3 月に変更された。

北関東地域会長会議が平成 29 年 12 月に開催され、北関東地域理事横田氏より以下のとおり報告された。

- 会費未納者名簿を送付したが、2 年間未納だと、退会処分となる。
- 統一講習会のテキストを、その他の教育現場において無断で使用することを禁止する。
- 基礎コースの看護学座学を e-ラーニングにした。実技を各県に依頼する可能性がある。
- フレッシュアップセミナーにおける贈呈品は、受講者のみが対象となるので講師・スタッフ等は受け取らず、余ったら返品すること。
- 読影の補助に関して、有効な取り組みを実施している病院を取材したいので紹介してほしい。
- 日本診療放射線技師会学術大会に合わせて実施していた会長会議は取りやめる。平成 30 年度は 7 月に 1 泊 2 日で実施する。予定では 7 月 28 日、29 日。
- 画像等手術支援の基礎講習は、e-ラーニングとなる。
- 卒業年度によって、学生が業務拡大項目の未履修が起り得る。現在、厚生労働省に確認中で、明確になり次第報告する。
- 日本診療放射線技師学術大会（函館）は大幅な赤字となった。旅費、委託料に赤字が目立ち、監事から指摘された。過去の大会、京都、岐阜大会も同様だった。

**理事：樋口清孝** 業務拡大項目の未履修について補足説明。入学年度でカリキュラムが決定されるので、留年した学生等、履修漏れがないように対応してほしいと本部へ打診済みである。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第 2 号議案 平成 29 年度教育委員幹事会報告

業務執行理事吉成亀蔵が欠席のため、資料に沿って議長小黒清が報告する。

基礎技術講習について、放射線治療及び核医学に続き、画像等手術支援についても来年から e-ラーニングに移行される。

業務拡大に伴う統一講習会について、

- 医療安全の確保、入学年度の違いによる単位の差を埋めることが目的であることを再認識してほしい。
- 他医療職種の指定規則の改定が進んでおり、診療放射線技師も単位数増加が検討されている。
- 広報にかかる経費を日放技が負担するので請求してほしい。
- 土日の連日ではなく、日日開催（日曜日を 2 回）も認めている。
- 実習指導者は 1 年間に 3 回以上指導してほしい。
- 実習機材を確認していただき、不具合は報告してほしい。
- 1 講義 50 分未満は認められないので、プログラム作成時に注意してほしい。
- 学生の卒業年度によって、業務拡大項目が未履修となるため、対応を厚生労働省と協議していかなければならない。

以上、重点課題として提示された。

第 34 回日本診療放射線技師学術大会が、平成 30 年 9 月 21 日～23 日の 3 日間、山口県で開催される。演題募集中なのでエントリーをお願いしたい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第 3 号議案 第 3 回卒後教育講座開催報告

**業務執行理事：金田幹雄** 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成 30 年 2 月 10 日に獨協医科大学病院教育医療棟 6 階シミュレーション講義室 I で開催された。ブラッコ・エーザイ株式会社の内川慶先生による「平成 30 年度診療報酬改定について」講演いただいた。参加者数は 59 名だった。うち、1 名が非会員の可能性があるため確認中であるが、今後、非会員から参加費を徴収すべく、受付の仕組みを整理していく。

**議長：小黒 清** 各地区の卒後教育講座も、非会員の取り扱いには注意してほしい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

## 第 4 号議案 第 7 回業務拡大に伴う統一講習会開催報告

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成30年1月7日、8日に獨協医科大学120番教室で開催された。受講者数は27名で全員合格された。

業務執行理事：柳沢三二郎 インフルエンザ等における早退、欠席の取り扱いについて確認を求めた。

議長：小黒 清 受講料は返金されるが、早退までに受講した科目はリセットされるので、新たに受講を促すこととする。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第5号議案 第13回学術研究発表会と第4回卒後教育講座について

業務執行理事：吉成亀蔵 欠席のため、議長小黒清 資料に基づき報告する。

平成30年3月11日に獨協医科大学関湊記念ホールで開催される。発表演題数は18演題、うち学生は3演題登録された。また、日本診療放射線技師学術大会（函館）及び関東甲信越診療放射線技師学術大会（長野）で発表された5演題も登録されている。

業務執行理事：金田幹雄 当日のスケジュールについて、受付8時30分から、開会式8時50分から、演題発表9時00分からとなる。

議長：小黒 清 理事の集合時間は7時30分とする。

理事：樋口清孝 抄録集について、2月13日に印刷開始予定である。

業務執行理事：柳沢三二郎 広告について、東芝メディカルシステムズとなっているが、このままで良いか確認を求めた。

議長：小黒 清 支店長に電話連絡し、キヤノンメディカルシステムズに変更することで回答を得た。後日、データのやり取りを実施し、抄録集に反映させることとする。

役割分担について、資料に基づき各理事対応をお願いしたい。担当者名の記載のない垂れ幕については、手配済みである。切替機は使用しない。発表時は、PC2台を交替で使用するが、1台は本会で、もう1台は獨協医科大学で準備する。

業務執行理事：金田幹雄 演者データの受領については、当日の演者受付で対応する。

学術奨励賞を未選定のため、学術担当者は再確認してほしい。

専用ホームページ用のQRコードを作成したので確認してほしい。

学術奨励賞の表彰状ホルダーを新規購入した。

議長：小黒 清 配布したリーフレットを各理事の勤務先に掲示してほしい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第6号議案 各種表彰推薦内規について

業務執行理事福田敏幸が欠席のため、資料に基づき小黒清が報告する。

叙勲について追加変更された。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第7号議案 柔道整復師法の反対表明決議について

議長：小黒 清 日放技からの指示により、柔道整復師法の一部改正における反対決議について、本理事会で決議をとった。

議長は、本議案について諮ったところ、満場一致で反対表明決議が承認された。

#### 第8号議案 技師連盟の加入促進について

議長：小黒 清 時期を見据えて、まずは理事に加入を促す。会員にも学術研究発表会等で加入を促す。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第9号議案 各部・各地区報告

##### (1) 部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員数が増加し、平成30年1月9日現在で491名となった。

会員の動静について、新規入会希望者4名について入会の承認を頂きたい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

第4回業務執行理事会が平成29年12月9日に開催された。議事録の添付をもって報告にかえる。

スケジュールが変更されたので、修正版を配布した。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。

会費納入状況（平成 30 年 2 月 9 日現在）

正会員 459 名（93.5%）

賛助会員 13 社（86.7%）

賛助会員会費未納：GE ヘルスケアジャパン

広告掲載未納：GE ヘルスケアジャパン、伏見製菓

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 欠席により、議長小黒清が報告する。

先の第 5 号議案で報告済みである。

業務執行理事：金田幹雄 追加発言。消化管撮影研究会を 3 月に開催予定である。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

抄録集の発行が 1 週間ほど遅れる予定。あすたーと第 43 号の発行が 4 月 19 日の予定。原稿締切を 4 月 5 日とする。各地区第 2 回卒後教育講座の報告が主となりそうである。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 特になし。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 特になし。

(2) 各地区理事活動報告

(第 1 地区) 理事：樋口清孝 議長の求めにより、

報告する。

第 2 回卒後教育講座

開催日 2 月 16 日

場 所 国際医療福祉大学

内 容 (講師)

個人モニタリング (千代田テクノル)

患者接遇とマナー (国際医療福祉大学  
キャリア支援センター)

(第 2 地区) 理事：木村友昭 欠席のため、業務執行理事金田幹雄、議長の求めにより、報告する。

第 2 回卒後教育講座

開催日 2 月 24 日

場 所 獨協医科大学病院

内 容 (講師)

伝えるというテーマのもと、伝わっているかをディスカッション

施設における検査説明 (3 施設)

RSNA 報告 (メーカー)

(第 3 地区) 理事：佐藤 宏 議長の求めにより、報告する。

第 2 回卒後教育講座

開催日 2 月 7 日

場 所 済生会宇都宮病院

内 容 (講師)

患者と医療者のコミュニケーション (栃  
木県立がんセンター井上医師)

参加者 22 名

(第 4 地区) 理事：三原健二 議長の求めにより、報告する。

第 2 回卒後教育講座

開催日 2 月 8 日

場 所 佐野厚生総合病院

内 容 (講師)

救急撮影 (NHO 水戸医療センター田中  
救急撮影認定機構理事)

参加者 24 名 (うち非会員 1 名)

(第 5 地区) 理事：木村和弘 議長の求めにより、報告する。

第 2 回卒後教育講座

開催日 2 月 8 日

場 所 石橋総合病院

内 容 (講師)

島津ソリューションの最新技術 (島津製作所)  
石橋総合病院の施設見学

参加者 28 名

議長：小黒 清 あすたーとや会誌の原稿用に、各地区卒後教育講座の内容 (スライド) をアップしたい。学術研究発表会の学術奨励賞も同様に、可能

なら論文をアップしたい。また、地区を超えた会員参加のために、各地区の講座案内を本会で共有したい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第10号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 本会ホームページ更新中。女性活躍推進において、斎藤会員、塚田会員を交えて新潟の学術大会で会議に出席予定。緊急被曝の研修会が12月24日、25日に開催され、宇都宮記念病院の櫻澤会員が参加した。

業務執行理事：福田敏幸 欠席により報告なし。

業務執行理事：牧島正道 部会報告に同じ。

業務執行理事：須藤昌彦 部会報告に同じ。

業務執行理事：金田幹雄 部会報告に同じ。

業務執行理事：吉成亀蔵 欠席により報告なし。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第11号議案 その他

議長：小黒 清 日放技の事務所の在り方について報告。今後、より一層の団結力が求められる。また、診療放射線技師養成施設卒業生へ向けた冊子がある。毎年、冊子が学生数分配布され、会の目的、入会案内等が盛り込まれている。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上、本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は、本日の平成29年度第6回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黒 清 閉会を宣し、17時54分散会した。



## 平成29年度 第7回 理事会議事録(抄)

日 時：平成30年3月11日(日) 16時15分 場 所：獨協医科大学 創立30周年記念館 関湊記念ホール  
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、吉成亀蔵、牧島正道、金田幹雄、須藤昌彦、  
柏崎克彦、樋口清孝、池田卓義、三原健二、加藤恵二、大橋俊之、木村和弘、  
佐藤 宏、高橋伸彰、木村友昭  
(監事) 荻原二三雄、茂木常男

#### 開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事三原健二が選任された。また、議事録署名人は、本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事荻原二三雄が選任された。

#### 第1号議案 平成29年度第6回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成29年度第6回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成29年度第6回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 理事会資料に基づき会長報告する。

栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会が3月9日に栃木県立がんセンターで開催された。「栃木県がん検診精密検査医療機関の登録要件の改正について」の改正内容として、

- 「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」から「日本乳がん検診精度管理中央機構」に改正。
- 「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の施設画像評価に合格していること」から「原則として、日本乳がん検診精度管理中央機構の施設画像評価に合格していること。ただし、合格していない場合は、年度内に申請する意思があれば仮登録（1年間）も可とする。」に改正。
- 「乳房超音波検査に習熟した医師、臨床検査技師あるいは診療放射線技師が行うこと」から「乳房超音波検査に習熟した医師、臨床検査技師、診療

放射線技師及び看護師が行うこと。」に改正。

- 乳がん部会が認める研修・講習会・関連学会に「日本乳腺甲状腺超音波医学会」を追加。

改正時期として平成30年4月から適用する、との事であった。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第2号議案 第13回学術研究発表会・第4回卒後教育講座開催報告

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。

会員112名、非会員3名、学生9名、合計124名の参加であった。

議長：小黒 清 一般演題発表と全国・関東発表報告の順番について、また、発表報告者に対する謝礼について今後検討してはどうか？

議長は議場に諮ったところ、全国・関東発表報告者に対する謝礼については座長と同様にする事で承認された。

#### 第3号議案 「栃木Ai研究会」の発足について

議長：小黒 清 各地区理事5名を世話人として「栃木 Ai 研究会」を発足する。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第4号議案 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会の予定について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成30年度は3回の開催を予定している。

第8回：平成30年7月15日(日)～平成30年7月16日(月)

第9回：平成30年11月17日(土)～平成30年11月18日(日)

第10回：平成31年2月10日(日)～平成31年2月11日(月)

開催スタッフについては資料のとおりお願いしたい。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第5号議案 本会70周年記念事業について

議長：小黒 清 本会は昭和24年5月29日に設立され、平成31年5月29日に70周年を迎えるので、

平成31年度内に記念誌の発行、記念式典の開催等、他の都道府県技師会を参考にしながら前向きに検討したい。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第6号議案 平成30年度事業計画書(案)と予算書(案)について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

平成30年度事業計画書(案)について、資料3P、2-3学術研究事業の第14回学術研究発表会の開催について、開催日は3月3日とし、開催場所は未定とする。また、資料5P、(5)『研究会活動』に新たに「栃木 Ai 研究会」を追加する。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 平成30年度予算書(案)について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第7号議案 会費等に関する規則の改定案について

議長：小黒 清 JART 勤続50年表彰受賞者はJART 会費免除となっているが、本会の諸規定には記載が無いので、現状では県技師会費の免除とならない。県技師会費の免除には、本会の諸規定にそれについての記載を追加しなければならないので、文言を検討し、改定案として次回理事会(4月)で承認、その後総会に諮るよう進めて行く。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第8号議案 技師連盟への理事加入について

議長：小黒 清 全理事が技師連盟へ加入済である事を確認するよう日放技から要請されている。

未加入の理事は速やかに入会するよう御願いたい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第9号議案 各部・各地区報告

(1) 部会報告  
(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員数が増加し、平成30年3月1日現在で493名となった。

会員の動静について、新規入会希望者1名について入会の承認を頂きたい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成30年度のスケジュール表について、3月の学術研究発表会、卒後教育講座、理事会の日程を3/10(日)から3/3(日)に変更となったので、修正を御願ひしたい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入状況(平成30年3月2日現在)

正会員 465名/493名(94.3%)

賛助会員 14社/15社(93.3%)

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより、報告する。

本日急遽キャンセルとなったGEヘルスケアジャパン(株)の講演は、平成30年度第1回か第2回の卒後教育講座で講演してもらう事としたい。

業務執行理事：金田幹雄 消化管撮影研究会を3月24日に開催予定である。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより、報告する。

次回のあすたーとの発行が4月19日の予定であり、原稿締切を4月5日とする。各地区第2回卒後教育講座の報告が主となりそうである。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 特になし。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 特になし。

(2) 各地区理事活動報告

(第1地区) 理事：樋口清孝 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月16日、国際医療福祉大学で開催した。会員14名、非会員4名(うち学生3名)計18名の参加であった。内容は個人モニタリング(千代田テクノル)、患者接遇とマナー(国際医療福祉大学キャリア支援センター)であった。

(第2地区) 理事：木村友昭 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月24日、獨協医科大学病院で開催した。会員18名の参加であった。

内容は施設における検査説明(3施設)などの講演と、伝えるというテーマのもと、伝わっているかのディスカッションを行った。

(第3地区) 理事：佐藤 宏 特になし。

(第4地区) 理事：三原健二 特になし。

(第5地区) 理事：木村和弘 特になし。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第10号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 議長の求めにより、報告する。

日放技より、DRLに関するセミナー及び活動等を行ったものについての報告を出すよう案内が来ているので、今年度行った表面線量実態調査についての報告をする。

業務執行理事：福田敏幸 議長の求めにより、報告する。

日放技の選挙管理委員会が来週あるので出席する予定。

業務執行理事：牧島正道 部会報告に同じ。

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、報告する。

第5回の業務執行理事会が2月27日開催されたので、議事録を作成し、今回の資料とした。

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。

現在事務所のインターネット回線はNTT 東日本のフレッツ ADSL を使用しているが、2023年1月31日をもってサービスの提供が停止となり、フレッツ光に移行するよう依頼されているので現在手続き中である。

業務執行理事：吉成亀蔵 議事録のとおり。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第11号議案 その他

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上、本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は、本日の平成29年度第7回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黑 清 閉会を宣し、18時00分散会した。

## 会の動静

- 7/31 南那須地区公衆衛生協会総会  
(烏山健康福祉センター) 〈田所〉
- 8/ 3 第1回栃木県がん対策推進協議会がん検診部会  
(栃木県庁本館) 〈小黑会長〉
- 8/20 あすたーとVol.44発刊
- 9/ 5 第58回栃木県公衆衛生大会  
(栃木県総合文化センター)  
医療被ばく低減施設認定取得セミナー  
(獨協医科大学病院)
- 9/12 第1回第4地区卒後教育講座  
(佐野市民病院)
- 9/21～23 第34回日本診療放射線技師学術大会  
(海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ)
- 9/26 第3回業務執行理事会(獨協医科大学病院)  
〈小黑会長・柳沢副会長・福田副会長・牧島理事・金田理事・吉成理事・須藤理事〉
- 10/13 日本診療放射線技師会第6回理事会(鈴鹿医療科学大学JART記念館) 〈小黑会長〉
- 10/14 診療放射線技師基礎講習「MRI検査」  
(獨協医科大学病院)
- 10/27 第2回卒後教育講座(獨協医科大学病院)  
第3回理事会(獨協医科大学病院)
- 11/ 2 第1回第3地区卒後教育講座  
(栃木県立がんセンター)
- 11/ 3 公益社団法人茨城県診療放射線技師会創立  
70周年記念式典・祝典  
(ホテル テラス ザ ガーデン水戸) 〈小黑会長〉

- 11/ 8 第1回第5地区卒後教育講座  
(新小山市民病院)
- 11/10 第1回第2地区卒後教育講座  
(獨協医科大学病院)
- 11/17-18 第9回業務拡大に伴う統一講習会  
(獨協医科大学病院)
- 12/ 1 平成30年度第2回日本診療放射線技師会北  
関東地域拡大会長・教育委員合同会議  
(大宮ソニックシティ) 〈小黑会長・柳沢副会長・吉成教育委員〉  
平成30年度第2回日本診療放射線技師会人材  
育成委員会女性活躍推進班北関東地域会議  
(大宮ソニックシティ) 〈塚田〉
- 12/ 8 第4回業務執行理事会(本会事務所)  
〈小黑会長・柳沢副会長・福田副会長・牧島理事・金田理事・吉成理事・須藤理事〉

## 会員の動静

|      |                     |      |      |
|------|---------------------|------|------|
| 会員総数 | 510名(平成30年12月14日現在) |      |      |
| 第1地区 | 84名                 | 第2地区 | 108名 |
| 第3地区 | 162名                | 第4地区 | 61名  |
| 第5地区 | 95名                 |      |      |

## 入 会

塩野 央 国際医療福祉大学塩谷病院  
相澤 菜摘 社会医療法人中山会 宇都宮記念病院  
木村 周平 済生会宇都宮病院  
町田 拓哉 済生会宇都宮病院  
水落 拓也 国立病院機構 栃木医療センター  
嶋田 智弥 国際医療福祉大学病院  
原田 昌幸 国際医療福祉大学病院  
鈴木 寛章 国際医療福祉大学病院  
賛助会員 株式会社ライズ  
〒329-1104 宇都宮市下岡本町2507-3  
TEL 028-671-8122

## 変 更

社名変更 富士フイルムRIファーマ株式会社  
→ 富士フイルム富山化学株式会社

## お悔やみ申し上げます

平成30年 5月 7日 ご尊父様 柏崎 克彦  
(宇都宮記念病院)  
平成30年 8月16日 ご尊父様 佐藤 和久  
(小金井中央病院)  
平成30年11月26日 ご尊父様 諏訪 一馬  
(獨協医科大学病院)

## 表 彰

### ●日本診療放射線技師会永年勤続表彰

#### ・勤続30年功労表彰

金田 幹雄 獨協医科大学病院  
須藤 昌彦 足利赤十字病院  
石川 剛 済生会宇都宮病院  
秋山 泰徳 とちぎメディカルセンターとちのき  
若林 克幸 栃木県立がんセンター  
伊勢 晶子 福田記念病院

### ●栃木県診療放射線技師会会長表彰

#### ・勤続35年功労

石井 純子 獨協医科大学病院  
山下 明 那須赤十字病院  
関根 光弘 今井病院  
松田 悟志 とちぎメディカルセンターしもつが  
小林 桂 済生会宇都宮病院  
高田 守 佐野市民病院

#### ・勤続20年功労

堀畑 大輔 獨協医科大学病院  
大毛 史恵 獨協医科大学病院  
阿久津智之 獨協医科大学病院  
加藤 人司 獨協医科大学病院  
大垣 拓史 とちぎメディカルセンターしもつが  
室町 隆 済生会宇都宮病院

渡会 仁 済生会宇都宮病院  
木村 健一 新小山市市民病院  
池田 幸弘 那須赤十字病院  
市川 和秀 佐野厚生総合病院  
斎藤 早苗 上都賀総合病院

### ●公衆衛生大会表彰

#### ①第58回栃木県公衆衛生大会

##### ○知事表彰

飯島 賢了 済生会宇都宮病院  
柳沢三二郎 自治医科大学附属病院

##### ○大会長表彰

田所 宏道 那須南病院  
遠藤 奈美 上都賀総合病院  
石川 剛 済生会宇都宮病院  
関根 光弘 今井病院  
寺島 洋一 自治医科大学附属病院  
石井 純子 獨協医科大学病院

#### ②各地区公衆衛生大会

○県北健康福祉センター所長・大田原地区公衆衛生協会会長表彰  
樋口 清孝 国際医療福祉大学  
○今市健康福祉センター所長表彰  
江連 真一 川上病院  
○宇都宮市公衆衛生事業功労市長表彰  
清水 孝明 宇都宮東病院  
○県南健康福祉センター所長表彰  
山越 一統 自治医科大学附属病院  
小林 和宗 自治医科大学附属病院  
○栃木健康福祉センター所長表彰  
木村 和弘 とちぎメディカルセンターしもつが

## 平成 30 年度 活動予定表

### 平成31年

1/10(木) 会誌110号発行  
1/19(土) 消化管撮影研究会  
第4回理事会  
2/ 6(水) 第2回第3地区卒後教育講座  
2/ 7(木) 第2回第4地区卒後教育講座  
2/10(日)・11(月) 第10回業務拡大に伴う統一講習会  
2/14(木) 第2回第5地区卒後教育講座  
2/15(金) 第2回第1地区卒後教育講座  
2/18(月) 第14回学術研究発表会抄録集発行  
2/21(木) 第5回業務執行理事会  
2/23(土) 第2回第2地区卒後教育講座  
2/ 2019・2010年度栃木県診療放射線技師会  
役員選挙公示  
3/ 3(日) 第3回卒後教育講座・第14回学術研究発表会  
第5回理事会

## 賛助・広告会員一覧

---

- 富士フイルムメディカル株式会社
- 日本メジフィジックス株式会社
- キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- 栃木放射線株式会社
- 富士フイルム富山化学株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- エーザイ株式会社
- 株式会社島津製作所
- 株式会社フィリップス・ジャパン
- 第一三共株式会社
- カイゲンファーマ株式会社
- ケアストリームヘルス株式会社
- 株式会社邦商
- 株式会社日立製作所 ヘルスケア宇都宮営業所
- シーメンスヘルスケア株式会社
- バイエル薬品株式会社
- コニカミノルタジャパン株式会社ヘルスケアカンパニー
- 株式会社ドクターネット
- 富士製薬工業株式会社
- 伏見製薬株式会社
- キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
- 株式会社ライズ

(順不同)

---

### 編集後記

■新年、明けましておめでとうございます。平成31年  
が幕開けです…とは言え、“平成”は今年の4月30日  
で終了です。皆さんご自身の“平成最後の〇〇”はお済  
ですか？

■下関で開催された日本診療放射線技師学術大会に  
は、栃木県からも多くの方が参加しておりました。学  
会会場だけでなく、観光名所や夜の繁華街でも、必ず  
大会参加者とすれ違う场景もまた、特別な雰囲気を感じ  
ます。今年は大宮（さいたま市）です。とても近い  
ので、皆さんで乗り込みましょう！

■各地区の卒後教育講座が年に2回開催されることが  
定着し、その内容も多岐にわたり、おもしろそうな  
テーマが目立ちます。ぜひとも、足を運んでいただけ  
ればと思います。

■当会のホームページがリニューアルされましたので、  
どんどん活用していただければと思います。また、会  
誌の内容も充実を図りたいと思っていますので、会員  
の皆さまからの投稿も大歓迎です。何か話題などがあ  
りましたら情報をお寄せいただきたく、お願いいたし  
ます。

---

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会編集委員会

委員：樋口清孝、池田卓義、須藤昌彦、高橋伸彰

---

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会会誌 No.110

Journal of Tochigi Association of Radiologic Technologists

平成31年1月10日発行

編集 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会編集委員会

発行人 小黒 清

発行 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10

栃木県庁舎西別館404

TEL・FAX 028-625-7979

<http://www.tartnet.com/>

E-mail [tart@ce.mbn.or.jp](mailto:tart@ce.mbn.or.jp)

銀行振込：足利銀行本店(普通)1785921

郵便振替：00340-3-35730

印刷所 藤崎印刷株式会社 TEL 028-633-4530

---